官報

第三千九百三十二號

NO.3932

大正十四年十月一日　木曜日

内閣印刷局

皇室令

朕宮内省官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十四年九月三十日

宮内大臣　一木喜德郎

内閣總理大臣　子爵　加藤　高明

内務大臣　若槻禮次郎

皇室令第十二號

宮内省官制中左ノ通改正ス

第十條第二項第十二號及第三十四條乃至第三十六條中「警察及消防」ヲ「警察消防及衛生」ニ改ム

第十八條中「調劑及衛生」ヲ「及調劑」ニ改ム

第三十八條第七項中「專任八人」ヲ「專任五人」ニ改ム

第四十四條第二項中「進藥及衛生」ヲ「及進藥」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十年十月七日公布皇室令第七號宮内省官制抄錄

第十八條　侍醫寮ニ於テハ診候進藥調劑及衛生ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十八條第七項

主獵官ハ專任八人勅任又ハ奏任名譽官トス内勅任ハ二人ヲ超ユルコトヲ得ス狩獵ノ事ヲ掌ル

第四十四條第二項

侍醫ハ二十二人勅任又ハ奏任トス内勅任ハ八人ヲ超ユルコトヲ得ス診候進藥及衛生ノ事ヲ分掌ス

勅令

朕大正十年勅令第二百三十八號關稅定率法第九條ニ依ル命令ノ件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十四年九月三十日

内閣總理大臣　子爵　加藤　高明

大藏大臣　濱口　雄幸

勅令第二百九十二號

大正十年勅令第二百三十八號中左ノ通改正ス

第一條第一種第二號中「納付シタル從價稅ノ全部」ヲ「納付シタル輸入稅ノ全部」ニ改ム

同種第五號中「葉鐵製ノ罐、箱又ハ瓶具」ヲ「葉鐵製ノ罐、箱、瓶具、鈕釦、卷煙草入若ハ石鹼入又ハ葉鐵ヲ用ヰタル鏡」ニ改ム

同種第七號中「金屬入織絲」ヲ「金屬入織絲又ハ鍍金銀シタル金屬線」ニ、「納付シタル從價稅ノ全部」ヲ「納付シタル輸入稅ノ全部」ニ改ム

同種第十號中「納付シタル從價稅ノ全部」ヲ「納付シタル輸入稅ノ全部」ニ改ム

同種第十二號ヲ左ノ如ク改ム

十二　硝子板

イ　厚四ミリメートル　曹達灰　硝子板　毎百平方メートル　四十五錢

ロ　其ノ他　曹達灰　硝子板　毎百平方メートル　七十五錢

同種第十三號中「琺瑯鐵器毎百斤　十八錢」ヲ「使用原料ニ付納付シタル輸入稅ノ全部」ニ改ム

同種第十七號中「アルミニウム製品」ヲ「アルミニウム製品ノ條、竿若ハ板又ハ其ノ製品」ニ改ム

同種第十七號ノ次ニ左ノ如ク加フ

十八　自動車又ハ自動自轉車用インナーチユーブ　金屬製ヴァルヴ　毎一個　納付シタル輸入稅ノ全部

十九　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀又ハ黑檀（鉛黑檀ヲ除ク）ノ製品　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀又ハ黑檀（鉛黑檀ヲ除ク）　使用原料ニ付　納付シタル輸入稅ノ全部

第一條第二種第九號及第十號ヲ左ノ如ク改ム

九　醋酸　醋酸石灰　毎百斤　四十一錢

十　硫化染料　石炭酸　毎百斤　六圓

十一　銅ノ塊、錠、條、竿、板、線、撚合線、筒又ハ管　クロールベンゾール又ハダイナイトロクロールベンゾール　從價　三割五分

銅ノ塊又ハ錠　毎百斤　七圓

銅ノ屑又ハ故（改造用ノミニ適スルモノ）　毎百斤　七圓

十二　眞鍮又ハ青銅ノ塊、錠、條、竿、板、線、撚合線、筒又ハ管　銅、眞鍮又ハ青銅ノ塊又ハ錠　毎百斤　七圓

銅、眞鍮又ハ青銅ノ屑又ハ故（改造用ノミニ適スルモノ）　毎百斤　七圓

亞鉛ノ塊、錠又ハ粒　毎百斤　三圓

十三　鉛ノ板又ハ管　鉛ノ塊又ハ錠　毎百斤　四十錢

十四　絕緣電線　銅ノ塊又ハ錠　毎百斤　七圓

鉛ノ塊又ハ錠　毎百斤　四十錢

第四條第四號中「第三號乃至第十號」ヲ「第三號乃至第十四號」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前輸入シタル原料品ヲ用ヰテ第一條第一種ノ製造品ヲ製造シ本令施行後輸出

第3932号　本文

シタル者ニ對シテモ仍本令ニ依リ輸入稅ノ拂戾ヲ爲ス

（參照）

大正十年五月三十日公布勅令第二百三十八號抄錄

第一條 關稅定率法第九條第一項ノ規定ニ依リ製造品竝輸入原料品及之ニ對スル輸入稅ノ免除又ハ拂戾ノ率ヲ定ムルコト左ノ如シ

（左記略ス）

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ輸入稅ノ免除ヲ受ケタル原料品ノ輸入申告者ヨリ輸入稅ヲ追徵ス

四 第一條ノ第二種原料品輸入ノ日ヨリ左ノ期間內ニ製造品ヲ輸出セサルトキ

第三號乃至第十號ノ製造品ニ付テハ二年

省令

◎宮內省令第八號

大正十一年宮內省令第十九號中勅裁ヲ經テ左ノ通改正ス

大正十四年十月一日 宮內大臣 一木喜德郎

宮內屬ノ下「二百四十人」ヲ「二百三十一人」ニ改ム

獵場監守長ノ下「五人」ヲ「三人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十一年十二月一日宮內省令第十九號ハ宮內判任官定員ノ件ナリ

◎宮內省令第九號

判任待遇宮內職員職制中左ノ通改正ス

大正十四年十月一日 宮內大臣 一木喜德郎

第二條第二項中「警察及消防」ヲ「警察消防及衞生」ニ改ム

第三條 式部職ニ獵場監守鷹匠及鵜匠頭ヲ置ク

獵場監守ハ專任二十人獵場ノ管守ニ從事ス

獵場監守ハ名譽職ト爲スコトヲ得

鷹匠ハ九人鷹隼ノ調習ニ從事ス

鵜匠頭ハ二人漁獵ニ從事ス

第九條中「鷹匠」ノ下ニ「鵜匠頭」ヲ加フ

第十條中「但シ獵場監守」ノ下ニ「及鵜匠頭」ヲ加ヘ第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 鵜匠頭陵墓守部膳手及殿部 七十圓以下

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十年十月七日宮內省令第十一號判任待遇宮內職員職制抄錄

第三條 式部職ニ獵場監守及鷹匠ヲ置ク

獵場監守ハ專任五十八人獵場ノ管守ニ從事ス

獵場監守ハ名譽職ト爲スコトヲ得

鷹匠ハ七人鷹隼ノ調習ニ從事ス

第九條 技手補皇宮警手獵場監守鷹匠陵墓守部膳手廚司長殿部參奉雅樂師及雅樂手長ハ判任待遇トス

第十條 前條ノ職員ノ俸給ハ月俸トシ左ノ定限ニ依ル但シ獵場監守ノ俸給ハ特ニ年俸ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ年額六百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

◎宮內省令第十號

皇宮警察部及同出張所設置ノ件中左ノ通改正ス

大正十四年十月一日 宮內大臣 一木喜德郎

第一條中「警察及消防」ヲ「警察消防及衞生」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎內務省令第十七號

大正十四年十月六日官幣大社宇佐神宮ニ同月九日官幣大社香椎宮ニ勅使參向ニ付當日行フ臨時奉幣祭ノ祭式及祝詞左ノ通定ム

大正十四年十月一日 內務大臣 若槻禮次郎

官幣大社宇佐神宮同香椎宮臨時奉幣祭式

一 祭式

當日早旦社殿ヲ裝飾ス

時刻宮司以下所定ノ座ニ著ク

次地方官所定ノ座ニ著ク

次宮司御扉ヲ開キ畢リテ側ニ候ス 此間奏樂

次禰宜以下神饌ヲ供ス 此間奏樂

次宮司祝詞ヲ奏ス

次勅使參進所定ノ座ニ著ク 神職前導

是ヨリ先修祓ノ儀アリ

次勅使隨員御幣物ヲ辛櫃ヨリ出シ假ニ案上ニ置ク 案ハ豫メ便宜ノ所ニ設ク

次宮司御幣物ヲ奉ル

次勅使進テ御祭文ヲ奏ス

次宮司御祭文ヲ請ヒ之ヲ神前ニ納メ訖テ勅使ニ反命ス

次勅使退出 神職前導

次地方官玉串ヲ奉リテ拜禮ス 玉串ハ隨員之ヲ附ス

次宮司玉串ヲ奉リテ拜禮ス 玉串ハ主典之ヲ附ス

次禰宜以下拜禮

次禰宜以下御幣物ヲ撤ス

次禰宜以下神饌ヲ撤ス 此間奏樂

次宮司御扉ヲ閉チ畢リテ本座ニ復ス 此間奏樂

次各退出

高等官同待遇之ニ準スヘキ公吏又ハ公職ニアル者神社所在地ノ町村長及氏子惣代又ハ之ニ準スヘキ者ハ參列スルコトヲ得

但シ服裝男子ハ大禮服正裝服制ナキモノハ通常禮服女子ハ通常服又ハ袿袴禮服トス

二 祝詞

掛麻久母畏伎宇佐神宮（香椎宮）乃大前尓宮司位勳功爵氏名恐美恐美母白左久遠天皇乃御世御世皇朝廷乃深久厚久御崇敬比坐須賀故尓天都日嗣乃大御業彌榮衣尓榮衣坐須中今乃大御世乃驗登今與里後十年尓一度大幣帛獻奉良志米給波牟登掟給比定給布是乎以弖今日乃生日乃足日尓官位勳功爵氏名乎大御使登志弖禮代乃大幣帛捧奉良志米給布故尓齋麻波里清麻波里弖仕奉禮留大御食大御酒乎始米弖海河野山乃種種乃味物乎横山乃如久置高成志弖朝日乃豐榮登里尓稱辭竟奉良久乎平介久安介久聞食志弖天皇命乃大御世乎天地乃共堅磐尓常磐尓齋奉里幸奉里給比親王等王等乎始米弖天乃下四方乃國乃國民尓至留麻弖長久平介久守給比惠給閇登恐美恐美母白須

◎大藏省令第二十號

大正十年大藏省令第十八號中左ノ通改正ス

大正十四年十月一日 大藏大臣 濱口雄幸

第十一條中「第一種第二號、第七號乃至第十號及第十六號」ヲ「第一種第二號乃至第十號、第十三號、第十六號、第十八號及第十九號」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

大正十年五月三十一日大藏省令第十八號（關稅定率法第九條施行ニ關スル件）抄錄

第十一條第一項

大正十年勅令第二百三十八號第一條ノ製造品ヲ輸出セムトスルトキハ輸出申告書ニ第一種品ニ在リテハ製造者ノ作成シタル製造證明書第二種品ニ在リテハ稅務署ノ製品檢査書ヲ添附スヘシ但シ第一種第二號、第七號乃至第十號及第十六號ノ製造品ニ在リテハ其ノ原料品ノ輸入免狀又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書又拂戾率カ從價稅ニ依レルモノニ在リテハ納付シタル輸入稅額ヲ證スヘキ書類ヲモ添附スルコトヲ要ス

◎商工內務省令

瓦斯事業法施行規則左ノ通定ム

大正十四年十月一日 商工大臣 片岡直溫 內務大臣 若槻禮次郎

瓦斯事業法施行規則

第一條 瓦斯事業經營ノ許可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 起業目論見書

二 工事設計書

三 工事費概算書（第一號樣式）瓦斯事業經營ノ許可申請ト同時ニ工事施行ノ許可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ本書ヲ省略スルコトヲ得

四 收支概算書（第二號樣式）瓦斯事業經營ノ許可申請ト同時ニ瓦斯料金設定ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ本書ヲ省略スルコトヲ得

五 他ヨリ瓦斯ノ供給ヲ受ケ瓦斯事業ヲ營マムトスル者ニ在リテハ其ノ供給者トノ契約書ノ謄本

六 會社發起人ニ在リテハ定款ノ謄本

七 會社ニ在リテハ其ノ會社ノ登記簿及定款ノ謄本、瓦斯事業經營ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本竝財產目錄及貸借對照表

八 組合ニ在リテハ其ノ契約書及瓦斯事業經營ニ關スル總組合員ノ同意書ノ謄本、財產目錄竝貸借對照表

九 公共團體ニ在リテハ瓦斯事業經營ニ關スル其ノ議會ノ議決書ノ謄本

第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ所在地

二 瓦斯ノ製造及供給ノ方法

三 一日ノ製造能力 製造所每ニ之ヲ記載スヘシ

四 事業資金ノ總額及其ノ出資方法 瓦斯事業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ各其ノ資金ヲ區分シテ記載スヘシ

五 供給區域 平面圖（供給區域ノ境界、郡市區町村大字界及其ノ名稱、主要ナル市街、村落、道路、橋梁、鐵道、軌道、山川、港灣、要塞地帶等ヲ記載シ主要ナル導管ノ施設豫定線ヲ記入ス）ヲ添附スヘシ

六 需用見込高

七 瓦斯事業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營スル事業ノ大要

第三條 工事設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ位置

二 瓦斯ノ發生、精製、計量、貯藏及供給ノ用ニ供スル主要ナル裝置

三 工事ノ著手及完了期日 工事ヲ區分シテ施行スル場合ニ於テハ其ノ區分每ニ之ヲ記載スヘシ

第四條 瓦斯事業法第五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クヘキ工事左ノ如シ

一 瓦斯ノ發生、精製若ハ供給ノ用ニ供スル主要ナル裝置（導管ヲ除ク）又ハ瓦斯溜ノ施設

二 高壓導管ノ施設

第五條 前條ノ工事施行ノ許可ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ具シ之ヲ商工大臣ニ申請スヘシ

一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ位置

二 瓦斯ノ發生、精製若ハ供給ノ用ニ供スル裝置（導管ヲ除ク）又ハ瓦斯溜ノ配置竝其ノ型式、構造及能力

三 高壓導管ノ內徑及配置竝高壓導管ヲ通スル瓦斯ノ壓力

第六條 前條ノ工事施行ノ許可申請書ニハ工事ノ種類ニ從ヒ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ周圍百メートル以內ノ平面圖

二 瓦斯製造所及瓦斯供給所ノ設計圖（構內ノ主要ナル導管ノ配置ヲ附記スヘシ）竝構內ノ主要ナル建物ノ仕樣書及構造圖

三 瓦斯ノ發生、精製又ハ供給ノ用ニ供スル裝置（導管ヲ除ク）ノ型式、構造、能力及主要寸法ニ關スル說明書

四 瓦斯溜ノ仕樣書及構造圖

五 高壓導管ノ施設仕樣書（材質ヲ記載スヘシ）及其ノ配置圖（整壓裝置ノ位置ヲ明示スヘシ）

六 工事費豫算書

第七條 許可ヲ受ケテ工事ヲ施行シタル瓦斯工作物使用ノ許可ハ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ

第八條 瓦斯事業者其ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ

第九條 瓦斯事業法第六條第二項ノ規定ニ依ル導管施設ノ許可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 管理者ニ提出シタル導管施設許可申請書及管理者ノ指令書ノ謄本

二 管理者ノ拒否處分ヲ不當トスル理由書

第十條 瓦斯事業法施行令第二條第二項ノ規定ニ依ル使用料變更ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 管理者ノ指令書ノ謄本

二 管理者ノ定メタル使用料ヲ不相當トスル理由書

第十一條 瓦斯事業法第七條第二項ノ規定ニ依ル土地立入ノ許可ハ左ノ事項ヲ具シ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ

一 立入ノ目的

二 立入ルヘキ土地ノ區域

三 立入ルヘキ時間及期間

四 所有者若ハ占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル事由

五 土地所有者及占有者ノ氏名及住所

第十二條 瓦斯事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル土地立入ノ通知書ニハ前條第一號乃至第三號ノ事項ヲ記載シ且許可書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十三條 瓦斯事業法第七條第二項ノ規定ニ依ル導管施設ノ許可ハ左ノ事項ヲ具シ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ

一 導管ノ形狀、內徑及其ノ施設方法

二 導管施設ノ爲當該地域ノ選定ヲ必要トスル理由

三 導管施設ノ爲立入ルヘキ土地ノ區域

四 導管施設工事ノ著手時期及期間

五 土地ノ現在ノ使用方法

六 損失補償ノ見積金額及其ノ內譯

七 所有者若ハ占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル事由

八 土地所有者及占有者ノ氏名及住所

前項ノ申請書ニハ導管ノ配置圖ヲ添附スヘシ

第十四條 瓦斯事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル導管施設ノ通知書ニハ前條第一項第一號乃至第四號ノ事項ヲ記載シ且許可書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十五條 瓦斯事業法第七條又ハ第九條ノ規定ニ依リ他人ノ土地若ハ建造物ニ立入リ又ハ他人ノ土地ニ導管ヲ施設セムトスル者ハ其ノ證票ヲ携帶スヘシ

前項ノ證票ハ土地又ハ建造物ノ管理者ノ請求アリタルトキハ之ヲ呈示スヘシ

瓦斯事業者ハ第一項ノ證票ノ雛形ヲ豫メ所轄警察官署ニ提出スヘシ

第十六條 瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依ル導管ノ位置ノ變更其ノ他土地使用ニ對スル障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル施設ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 請求ノ目的及理由

二 土地ノ現在ノ使用方法及變更スヘキ使用方法竝使用方法變更ノ時期

第十七條 瓦斯事業者瓦斯事業法第八條第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ請求ニ應スルヤ否ヤヲ遲滯ナク請求者ニ通知スヘシ

瓦斯事業者請求ニ應スル場合ニ於テハ瓦斯事業法第八條第二項ノ規定ニ依リ請求者ノ負擔スヘキ費用ノ擔保トシテ施設費見積額ニ相當スル金額ヲ其ノ施設著手前ニ供託スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第十八條 瓦斯事業者瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依リ請求セラレタル施設ニ著手シタルトキ及之ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ請求者ニ通知スヘシ

瓦斯事業法第八條第一項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲シタル者其ノ土地ノ使用方法ノ變更ニ著手シタルトキ及之ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ瓦斯事業者ニ通知スヘシ

第十九條 瓦斯事業法第十條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シタル申請書（正副二通）ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及理由

地方長官申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ

第3932号 本文

副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間內ニ答辯書ヲ差出サシムヘシ
指定ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得副本ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ
第二十條　裁定書ニハ理由ヲ附シ地方長官之ヲ當事者雙方ニ送付スヘシ
第二十一條　瓦斯事業法第十二條第四項及第十七條第二項ノ規定ニ依ル裁定ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス
第二十二條　瓦斯事業法第十二條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受クヘキ瓦斯供給條件左ノ如シ
一　瓦斯引用ノ工事費ノ全部又ハ一部ヲ需用者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ其ノ金額
二　瓦斯「メートル」其ノ他瓦斯ノ使用ニ必要ナル器具ノ賃貸料
第二十三條　瓦斯料金又ハ前條ノ瓦斯供給條件ノ設定又ハ變更ノ認可申請書ニハ其ノ設定又ハ變更ノ計算ノ基礎ヲ明ニスヘキ書類ヲ添附スヘシ
第二十四條　瓦斯ノ成分ハ左ノ制限ニ從フヘシ
一　硫化水素含有ノ反應ヲ呈セサルコト
二　硫黃含有量ハ十立方メートル中五グラム以下ナルコト
三　「アムモニア」含有量ハ十立方メートル中二グラム以下ナルコト
第二十五條　無臭ノ瓦斯ニハ其ノ漏洩ヲ覺知シ易カラシムル爲臭氣ヲ附スヘシ
第二十六條　瓦斯ノ壓力及熱量ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ且之ヲ公示スヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
前項ノ壓力及熱量ハ需用者ノ瓦斯「メートル」ノ出口ヲ標準トシテ之ヲ表示スヘシ
第二十七條　天災、工事其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前條ノ規定ニ依リ公示シタル壓力又ハ熱量ヲ維持スルコト能ハサルトキハ瓦斯事業者ハ遲滯ナク其ノ事由、區域、期間及其ノ變更スル瓦斯ノ壓力又ハ熱量ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ壓力又ハ熱量ヲ維持スルコト能ハサルコトヲ豫知シ得ルトキハ瓦斯事業者ハ豫メ之ヲ關係需用者ニ周知セシムヘシ
第二十八條　瓦斯事業者ハ一週一回以上成分ノ試驗ヲ、一日一回以上壓力及熱量ノ測定ヲ行フヘシ
前項ノ壓力及熱量ヲ測定スヘキ場所ハ商工大臣之ヲ定ム
第二十九條　左ノ事項ハ商工大臣之ヲ告示ス
一　成分試驗ノ方法及裝置ノ型式
二　壓力測定ノ方法及裝置ノ型式
三　熱量測定ノ方法及裝置ノ型式
第三十條　水性瓦斯其ノ他固形的瓦斯製造裝置ニハ「レリーフホールダー」其ノ他適當ナル緩衝裝置ヲ施設スヘシ
第三十一條　各瓦斯製造所ノ發生精製裝置ヨリ直接瓦斯ヲ送入スル瓦斯溜(「レリーフホールダー」ヲ除ク)ノ總容量ハ其ノ一日ノ製造能力ノ二分ノ一以上タルヘシ
第三十二條　瓦斯溜ニハ瓦斯放出裝置ヲ施設スヘシ
第三十三條　瓦斯發生爐又ハ瓦斯溜ヲ施設セムトスルトキハ其ノ外側ヨリ左ノ距離ヲ有セシムヘシ
一　宮城、離宮、御用邸又ハ神宮ヘ四百メートル以上
二　皇陵、社寺、公園、學校、病院、劇場其ノ他多衆ヲ收容スヘキ建造物ヘ百メートル以上
瓦斯發生爐又ハ瓦斯溜ハ其ノ外側ヨリ前項ニ揭クル工作物及人家ヘ十メートル以上ノ距離ヲ保有スヘシ
商工大臣ハ所在地又ハ設備ノ狀況ニ依リ危險ノ虞ナシト認ムルトキハ前二項ニ定ムル距離ノ短縮ヲ許可スルコトアルヘシ
第三十四條　瓦斯製造所ニハ豫備排送裝置ヲ施設スヘシ
第三十五條　導管ニハ適當ナル區劃ニ對シ瓦斯ノ供給ヲ遮斷スル爲必要ナル裝置ヲ施設スヘシ
瓦斯事業者ハ瓦斯供給中火災其ノ他非常ノ場合ニ際シ危險アリト認ムルトキハ其ノ供給ヲ遮斷スヘシ
第三十六條　一日五萬立方メートル以上ノ製造能力ヲ有スル瓦斯製造所ニ依リ瓦斯ノ供給ヲ受クル區域內ニ在リテハ內經百ミリメートル以上、其ノ他ノ場合ニ在リテハ內經五十ミリメートル以上ノ低壓導管（建物內ニ施設スルモノヲ除ク）ヲ施設シ又ハ之ヲ變更シタル場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ其ノ配置圖（導管ノ內徑及遮斷裝置ノ位置ヲ明示スヘシ）ヲ添ヘ三月每ニ取纏メ之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ
第三十七條　商工大臣ハ瓦斯ノ供給ニ支障ヲ來サザル爲又ハ災害ノ豫防若ハ除却ノ爲必要アリト認ムルトキハ瓦斯事業者ニ對シ瓦斯溜其ノ他瓦斯工作物ニ關シ其ノ施設、變更其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ
地方長官ハ危險急迫ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス保安上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第三十八條　瓦斯事業ノ廢止又ハ一月以上ノ休止ノ許可ハ其ノ事由、區域及休止ノ期間ヲ具シ之ヲ商工大臣ニ申請スヘシ
瓦斯事業ノ一月未滿ノ休止ノ許可ハ其ノ事由、區域及期間ヲ具シ之ヲ地方長官ニ申請スヘシ
前二項ノ許可ヲ受ケタルトキハ瓦斯事業者ハ豫メ之ヲ關係需用者ニ周知セシムヘシ
天災、工事其ノ他已ムコトヲ得サル事業ニ因リ瓦斯ヲ供給スルコト能ハサル場合ニ關シテハ第二十七條ノ規定ヲ準用ス
第三十九條　瓦斯事業讓渡ノ許可申請書ハ左ノ書類ヲ添附シ當事者連署ノ上之ヲ提出スヘシ
一　讓渡契約書ノ謄本
二　讓渡人又ハ讓受人カ會社ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本、組合ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル總組合員ノ同意書ノ謄本
三　讓受人カ會社發起人ナル場合ニ於テハ定款ノ謄本
四　讓受人カ瓦斯事業者ニ非サル會社ナル場合ニ於テハ定款及會社登記簿ノ謄本、財產目錄並貸借對照表
五　讓受人カ組合ナル場合ニ於テハ第二號ニ揭クル書類ノ外其ノ契約書ノ謄本、財產目錄及貸借對照表
六　讓渡人又ハ讓受人カ公共團體ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル其ノ議會ノ議決書ノ謄本
第四十條　瓦斯事業ノ讓渡終了シタルトキハ遲滯ナク當事者連署ノ上之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ
第四十一條　瓦斯事業ヲ營ム會社ノ合併ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス
第四十二條　瓦斯事業ヲ營ム會社ノ解散ノ許可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且解散ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スヘシ
第四十三條　瓦斯事業法第十七條第一項ノ規定ニ依ル瓦斯事業買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
一　買收目的ノ範圍ニ關スル調書
二　買收價格ノ算出及買收代金ノ支拂ニ關スル說明書
三　買收ニ關スル市町村會ノ議決書ノ謄本
四　買收後ニ於ケル事業計畫書及收支豫算書
第四十四條　瓦斯製造所ニハ其ノ製造能力一日五千立方メートル以上ノモノニ在リテハ甲種免狀ヲ有スル者ヲ、五千立方メートル未滿ノモノ及瓦斯供給所ニ在リテハ甲種免狀又ハ乙種免狀ヲ有スル者ヲ主

任技術者トシテ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ
第四十五條　甲種免狀又ハ乙種免狀ハ左ノ資格ヲ有スル者ニ就キ本人ノ申請ニ依リ商工大臣銓衡ノ上之ヲ交付ス
甲種免狀
一　高等工業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ卒業者ニシテ在學中瓦斯事業ノ技術ニ關スル學科ヲ修得シ且一年以上其ノ實務ニ從事シタル者
二　瓦斯事業ノ技術ニ關シ前號ニ揭クル者ト同等以上ノ學識ヲ有シ且一年以上其ノ實務ニ從事シタル者
乙種免狀
一　工業學校（尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノモノ若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノモノ）又ハ之ト同等以上ノ學校ノ卒業者ニシテ在學中瓦斯事業ノ技術ニ關スル學科ヲ修得シ且一年以上其ノ實務ニ從事シタル者
二　瓦斯事業ノ技術ニ關シ前號ニ揭クル者ト同等以上ノ學識ヲ有シ且一年以上其ノ實務ニ從事シタル者
第四十六條　瓦斯事業者主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘ之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ
第四十七條　主任技術者缺ケタルトキハ瓦斯事業者ハ遲滯ナク其ノ後任者ヲ選任スヘシ
第四十八條　商工大臣ハ主任技術者カ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ不適當ナル行爲アリト認ムルトキハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘシ
第四十九條　瓦斯事業者供給區域又ハ高壓導管ヲ通スル瓦斯ノ壓力ヲ變更セムトスルトキハ商工大臣ノ許可ヲ受クヘシ
第五十條　瓦斯事業者（公共團體タル瓦斯事業者ヲ除ク）ハ每事業年度經過後遲滯ナク財產目錄、貸借對照表、營業報告書及損益計算書ヲ商工大臣ニ提出スヘシ
第五十一條　瓦斯事業者ハ瓦斯供給規程ヲ定メ之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
第五十二條　瓦斯事業者ハ業務ノ狀況ニ關シ報告書（第三號樣式）ヲ作製シ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ
第五十三條　左ノ場合ニ於テハ瓦斯事業者ハ遲滯ナク之ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ
一　會社成立シタルトキ
二　會社ノ取締役、監査役ヲ選任シ又ハ代表社員ヲ定メタルトキ
三　會社ノ定款又ハ組合契約ヲ變更シタルトキ
四　主タル事務所以外ニ營業所又ハ事務所ヲ設置シ又ハ變更シタルトキ
五　第二條第一號乃至第四號ニ規定スル事項ヲ變更シタルトキ
六　他ヨリ瓦斯ノ供給ヲ受クル契約ヲ爲シタルトキ又ハ之ヲ變更若ハ解消シタルトキ
七　瓦斯事業以外ノ事業ヲ兼營スルニ至リタルトキ又ハ瓦斯事業以外ノ事業ノ兼營ヲ廢止スルニ至リタルトキ
八　公共團體ト事業經營ニ關スル定ヲ爲シタルトキ又ハ之ヲ變更シタルトキ
第五十四條　瓦斯事業法、瓦斯事業法施行令又ハ本則ノ規定ニ依リ商工大臣又ハ內務大臣及商工大臣ニ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ關スル事項ニ付テハ主トシテ關係ヲ有スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ別ニ其ノ副本ヲ關係地方長官ニ提出スヘシ
第五十五條　本則中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ第十一條、第十三條、第十九條及第二十條ヲ除クノ外警視總監トス但シ第五十四條ニ在リテハ瓦斯事業法第六條第二項、第十二條第四項及第十七條並瓦斯事業法施行令第二條第二項ノ規定ニ依ル許可、認可、裁定其ノ他ノ處分ノ申請ニ關シテハ東京府知事、瓦斯事業法第三條、第十五條及第十六條ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ關シテハ東京府知事及警視總監トス
第五十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一　第二十四條、第二十五條、第二十八條第一項、第三十五條第二項又ハ第五十一條ノ規定ニ違反シタル者
二　第三十七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタル者

附　則

第五十七條　本則ハ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五十八條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ許可ヲ受ケ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ六月ヲ限リ第二十四條ノ制限ニ依ラサルコトヲ得
第五十九條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ瓦斯事業法施行ノ日ヨリ六月以內ニ第二十六條ノ認可ヲ申請スヘシ
第六十條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ六月間ハ第二十五條及第二十八條ノ規定ヲ適用セス
第六十一條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯工作物ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ五年內ニ於テ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル期間ハ第三十條、第三十一條及第三十三條第二項ノ規定ヲ、同法施行ノ日ヨリ六月間ハ第三十二條、第三十四條及第三十五條第一項ノ規定ヲ適用セス
第六十二條　第五十八條及前條ノ規定ニ依ル許可申請書ハ瓦斯事業法施行後一月內ニ之ヲ商工大臣ニ提出スヘシ
第六十三條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ニ付テハ同法施行ノ日ヨリ二年間第四十四條ノ規定ヲ適用セス
第六十四條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ瓦斯事業法施行後遲滯ナク左ノ事項ヲ商工大臣ニ屆出ツヘシ
一　第二條第一號乃至第四號及第七號ニ揭クル事項
二　第五條ニ揭クル事項
三　瓦斯料金及第二十二條ノ瓦斯供給條件
四　會社ノ取締役及監査役ノ氏名
五　會社ノ定款ノ謄本
六　主タル事務所以外ノ營業所又ハ事務所ノ所在地
七　公共團體トノ間ニ存スル事業經營ニ關スル定
八　瓦斯供給規程
第六十五條　瓦斯事業法施行ノ際現ニ存スル瓦斯事業者ハ第一條第五號、第二條第五號、第六條第二號乃至第五號及第三十六條ニ揭クル書類及圖面ヲ同法施行後遲滯ナク商工大臣ニ提出スヘシ

（參照）

大正十二年四月十日公布法律第四十六號瓦斯事業法抄錄
第三條　瓦斯事業ヲ營マムトスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ
第五條　瓦斯事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ工事ヲ施行シ又ハ瓦斯工作物ヲ使用スルコトヲ得ス
第六條第一項及第二項
瓦斯事業者ハ河川、溝渠、道路、橋梁、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラルル土地ニ導管ヲ施設スル必要アルトキハ其ノ效用ヲ妨ケサル限度ニ於テ其ノ管理者ノ許可ヲ受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ管理者正當ノ事由ナクシテ前項ノ許可ヲ拒ミタルトキハ主務大臣ハ瓦斯事業者ノ申請ニ依リ前項ニ規定スル使用ヲ許可スルコトヲ得
第七條　瓦斯事業者ハ必要アルトキハ導管ノ施設ニ關スル調査、測量若ハ工事ノ爲他人ノ土地ニ立入リ又ハ現在ノ使用方法ヲ妨ケサル限度ニ於テ他人ノ土地ニ導管ヲ施設スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ瓦斯事業者他人ノ土地ニ立入リ又ハ導管ヲ施設セムトスル場合ニ於テ其ノ所有者及占有者ト協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ使用ノ範圍ヲ定メ豫メ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ
瓦斯事業者前項ノ許可ヲ受ケタル後他人ノ土地ニ立入リ又ハ導管ヲ施設セムトスルトキハ少クトモ五日前ニ其ノ旨土地ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ
第八條　前條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ導管ヲ施設シタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者

第3932号 本文

又ハ占有者ハ其ノ土地ノ使用方法ヲ變更スル爲必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ瓦斯事業者ニ對シ導管ノ位置ノ變更其ノ他土地ノ使用ニ對スル障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ施設ニ要スル費用ハ瓦斯事業者ノ負擔トス但シ瓦斯事業者前項ノ施設ヲ爲シタル後前項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲シタル土地ノ所有者又ハ占有者カ正當ノ事由ナクシテ其ノ土地ノ使用方法ノ豫定ノ變更ヲ爲ササルトキハ其ノ者ノ負擔トス

第九條　瓦斯事業者ハ瓦斯工作物ノ修理又ハ檢査ノ爲必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工作物ヲ施設シタル他人ノ土地又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得但シ日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得ス

第十條第一項及第二項
第七條及前條ノ場合ニ於テ現ニ生シタル損失ハ瓦斯事業者之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十二條第一項及第四項

瓦斯料金其ノ他命令ヲ以テ定ムル瓦斯供給條件ノ設定又ハ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

市町村ト瓦斯事業者トノ間ニ存スル事業經營ニ關スル定ニ基キ瓦斯事業者カ市町村ノ承認ヲ求メタル場合ニ於テ協議調ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

第十五條　瓦斯事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得ス

第十六條　瓦斯事業ノ讓渡ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ瓦斯事業ヲ營ム會社ノ合併又ハ解散亦同シ

第十七條　市町村カ瓦斯事業ヲ營マムトスルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ管轄區域內ノ瓦斯事業ヲ買收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル買收ノ價格其ノ他買收ノ條件ニ關シ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定中買收價格ニ付不服アル者ハ裁定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一號樣式

工事費概算書

費目	價額	備考
	圓	
製造所費		
敷地費		
建築物費		
發生裝置費		
精製裝置費		
瓦斯溜費		
諸機械費		
其ノ他構內設備費		
供給設備費		
導管費		
瓦斯「メートル」其ノ他ノ器具費		
其ノ他		
計		

注意
一　敷地及建築物ニ付テハ其ノ平方米數ヲ備考欄ニ記載スヘシ
二　二以上ノ製造所ヲ施設スル者ニ在リテハ製造所毎ニ製造所費ヲ記載シ供給所ヲ施設スル者ニ在リテハ製造所費ニ準シ別ニ供給所費ヲ記載スヘシ

第二號樣式

收支概算書

收入ノ部

壓力(水柱)　粍
熱量　瓩カロリー

費目		數量	單價	金額	備考
		立方米	圓	圓	
瓦斯收入					
副產物收入	骸炭	瓲			
	「コールタール」	立			
	其ノ他				
瓦斯「メートル」其ノ他ノ器具賃貸料					
雜收入					
計					

支出ノ部

費目	金額	備考
	圓	
營業費		
給料及手當		
事務費		
諸税		
其ノ他		
製造及供給費		
給料手當及賃金		
原料及材料費		
修繕費		
其ノ他		
瓦斯購入費		
銷却費		
土地使用料		
其ノ他		
計		
差引純益金		

注意
一　收支概算書ハ事業開始後ノ常態ニ於ケル一事業年度ノ見込ニ付之ヲ記載スヘシ
二　瓦斯事業以外ノ事業ヲ兼營スル者ニ在リテハ其ノ兼營事業ノ收支豫算ノ大要ヲ說明スヘシ

第三號樣式ノ一

事業報告書

(瓦斯事業者名)
(成分試驗ノ場所)

大正　年　月分

日附＼成分	硫化水素	硫黄	アムモニア	備考
		瓦	瓦	
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				

注意
一　本報告書ハ前月分ヲ取纏メ毎月十日迄ニ之ヲ提出スヘシ
二　成分ノ試驗ハ熱量測定ノ爲指定シタル場所毎ニ之ヲ爲スヘシ

第三號樣式ノ二

(瓦斯事業者名)

事業報告書

大正　年　月分

認可壓力(水柱)　粍
認可熱量　瓩カロリー

日附＼項目	瓦斯ノ壓力			瓦斯ノ熱量		備考
	測定場所	測定時刻	壓力	測定場所	熱量	
			(水柱)(粍)		瓩カロリー	
日						
日						
日						
日						
日						
日						
日						
日						
日						

注意
一　本報告書ハ前月分ヲ取纏メ毎月十日迄ニ之ヲ提出スヘシ
二　本報告書ハ壓力及熱量ニ付キ認可ヲ受ケタル區域毎ニ之ヲ作製スヘシ
三　壓力及熱量ハ指定シタル場所毎ニ測定シタル壓力及熱量中最低ノモノヲ記載スヘシ

第三號樣式ノ三

(瓦斯事業者名)

事業報告書

第　事業年度分(自大正　年　月　日 至大正　年　月　日)

項目		數量	備考
石炭消費高		瓲	
瓦斯	製造高	立方米	
	購入高	立方米	
	受入高	立方米	
	販賣高	立方米	
骸炭	生產高	瓲	
	消費高	瓲	
	販賣高	瓲	
「コールタール」	生產高	立	
	販賣高	立	
硫酸「アムモニア」	生產高	瓲	
	販賣高	瓲	
其ノ他ノ副產物	生產高	圓	
	販賣高	圓	

注意
一　本報告書ハ前事業年度分ヲ取纏メ年度經過後一月內ニ之ヲ提出スヘシ
二　二以上ノ製造所ヲ有スル者ニ在リテハ製造所別ニ記載スヘシ但シ製造所別ニ判明セサルモノニ付テハ其ノ總數ヲ記載シ備考欄ニ說明スヘシ
三　瓦斯供給所ヲ有スル者ニ在リテハ瓦斯購入高及瓦斯受入高ニ付前項ニ準シ之ヲ記載スヘシ
四　瓦斯製造高ニ付テハ石炭瓦斯、水性瓦斯、其ノ他ニ區別シタルモノヲ記載シ且其ノ一事業年度間ノ一日平均製造高ヲ備考欄ニ記載スヘシ
五　瓦斯受入高トハ同一瓦斯事業者ノ他ノ製造所又ハ供給所ヨリ供給ヲ受ケタル瓦斯ノ數量ヲ謂フ
六　瓦斯販賣高ニ付テハ家庭用、工業用ニ區別シタルモノノ概數又ハ百分率ヲ備考欄ニ記載スヘシ

◎遞信省令第七十號

電話規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日　遞信大臣　安達謙藏

第一條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ自働交換方式ニ依リ電話交換ヲ爲ス局(以下自働式局ト稱ス)所屬ノ電話加入ハ單獨加入及共同線加入ノ二種トス

第七條中「又ハ特別長距離」及「若ハ其ノ種別ヲ變更シ」ヲ削ル

第二十一條第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第二十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條ノ二　連接加入カ自働式局ノ所屬トナルトキハ該連接加入ハ加入者ノ請求ヲ俟タス之ヲ共同線加入ニ變更ス

前項ノ規定ニ依リ連接加入ヨリ變更シタル共同線加入ハ前條第二項第一號ノ適用ニ付テハ其ノ變更ノ時ニ於テ加入申込ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十二條中「前條」ヲ「第二十一條」ニ改ム

第二十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十一條ノ二第一項ノ規定ニ依リ連接加入ヨリ變更シタル共同線加入カ其ノ相手方ヲ得サルトキ亦前項ニ同シ

第二十八條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

自働式局所屬ノ加入者ハ本電話機ト通話シ得ル乙種私設電話機ノ使用ヲ爲スコトヲ得

第五十八條第一項中第一號ヲ左ノ如ク改ム

一　電話使用料

度數料金制施行地	土地ノ種別	甲地	乙地	丙地	丁地
基本料年額	單獨加入	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓
	共同線加入	三十三圓	二十九圓	二十五圓	二十一圓
	連接加入	十六圓	十六圓	十六圓	十六圓
度數料	市內通話一度數ニ付	三錢	三錢	三錢	三錢

第3932号 本文

告示

◎内閣告示第十號

本月十五日官幣大社朝鮮神宮鎮座祭ニ付特ニ當日朝鮮ニ於ケル諸官員ニ休暇ヲ賜フ旨仰出サル

大正十四年十月一日

内閣總理大臣　子爵　加藤　高明

◉大藏省告示第百四十號

大正十四年九月中小額紙幣銷却高左ノ如シ

種類	枚數	金額
五十錢	八七六、〇〇〇	四三八、〇〇〇圓
二十錢	五〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇圓
十錢	五二〇、〇〇〇	五二、〇〇〇圓
計	一、四四六、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇圓

參照

大正十四年九月末小額紙幣發行殘高左ノ如シ

	圓
發行高累計	四七、五〇〇、〇〇〇
銷却高累計	三八五、八五〇、〇〇〇
發行殘高	一八、六五〇、〇〇〇

大正十四年十月一日

大藏大臣　濱口　雄幸

◉大藏省告示第百四十一號

大阪稅務監督局内土庄稅務署ヲ大正十四年十月十日香川縣小豆郡土庄町字橋乘甲九百六十六番地ノ八ヨリ同郡同町字國ノ谷甲千七番地ノ三ニ移ス

大正十四年十月一日

大藏大臣　濱口　雄幸

◉文部省告示第三百三十七號

滋賀縣蒲生郡長濱町ニ設置セル滋賀縣實業補習學校教員養成所ノ修業年限ヲ大正十四年四月ヨリ二年ニ變更ノ件認可セリ

大正十四年十月一日

文部大臣　岡田　良平

◉農林省告示第百二號

富山縣婦負郡熊谷村長申請富山縣婦負郡里瀬谷村猟區ニ於ケル狩猟法施行規則第二條ノ承認料額變更ノ件大正十四年九月三十日左ノ通認可セリ

大正十四年十月一日

農林大臣　早速　整爾

狩猟法施行規則第二條ノ承認料額

一、一人一年ニ付	金壹圓五拾錢

◉遞信省告示第二十號

電話通話規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日

遞信大臣　安達　謙藏

第六條第二項中「短距離長距離及特別長距離」ヲ「短距離及長距離」ニ改メ「又ハ特別長距離通話區域」ヲ削ル

第七條及第二十八條中「自働電話所」ヲ「公衆電話所」ニ改ム

第十二條中「若ハ特別長距離通話區域」ヲ削ル

（參照）

大正三年十月十一日遞信省令第三十八號電話通話規則抄錄

第六條第二項

市外通話區域ハ短距離長距離及特別長距離トシ別ニ之ヲ公示ス但シ加入者カ長距離通話區域又ハ特別長距離通話區域ニ屬スル通話ヲ爲シ得ルハ電話規則第七條又ハ特設電話規則第十四條ニ依リ該加入者カ之ニ對スル資格ヲ有スル場合ニ限ル

第十二條　料約新聞通話擔約取引所通話若ハ定時通話ノ取扱又ハ其ノ他ノ通話ニシテ長距離通話區域若ハ特別長距離通話區域ニ屬スルモノノ取扱ヲ開始セムトスルニ方リ開係加入者カ他ノ加入者ト市内通話區域ニ屬スル通話中ナルトキハ電話官署ニ於テ其ノ接續ヲ中斷ス

◉遞信省令第七十三號

請願通信施設規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日

遞信大臣　安達　謙藏

第一條及第十一條中「自働電話所」ヲ「公衆電話所」ニ改ム

第二十一條第一項特設電話ニ關スル料金ハ左ノ如シ

四	附加交換料	長距離通話機　一箇毎一年額　七圓
		長距離裝置電話機　一箇毎一年額　十四圓
		特別長距離通話機　一箇毎一年額　十四圓

◉遞信省令第七十二號

電話通話規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日

遞信大臣　安達　謙藏

第六條第二項中「短距離長距離及特別長距離」ヲ「短距離及長距離」ニ改メ「又ハ特別長距離通話區域」ヲ削ル

第七條及第二十八條中「自働電話所」ヲ「公衆電話所」ニ改ム

第十二條中「若ハ特別長距離通話區域」ヲ削ル

（參照）

大正三年十月十一日遞信省令第三十八號電話通話規則抄錄

第六條第二項

市外通話區域ハ短距離長距離及特別長距離トシ別ニ之ヲ公示ス但シ加入者カ長距離通話區域又ハ特別長距離通話區域ニ屬スル通話ヲ爲シ得ルハ電話規則第七條又ハ特設電話規則第十四條ニ依リ該加入者カ之ニ對スル資格ヲ有スル場合ニ限ル

第十二條　料約新聞通話擔約取引所通話若ハ定時通話ノ取扱又ハ其ノ他ノ通話ニシテ長距離通話區域若ハ特別長距離通話區域ニ屬スルモノノ取扱ヲ開始セムトスルニ方リ開係加入者カ他ノ加入者ト市内通話區域ニ屬スル通話中ナルトキハ電話官署ニ於テ其ノ接續ヲ中斷ス

◉遞信省令第七十三號

請願通信施設規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日

遞信大臣　安達　謙藏

第一條及第十一條中「自働電話所」ヲ「公衆電話所」ニ改ム

許可 3932 号

於テ一回ノ測定ニ付燃焼スヘキ瓦斯ノ量ハ約十リットルトシ熱量計ヲ流通スル水ノ其ノ入口及出口ニ於ケル温度計ノ指差ハ攝氏ノ十度乃至十二度ナラシムヘシ

前項ノ熱量測定ハ三回連續シテ行ヒ其ノ平均値ヲ求メ之ヲ温度攝氏零度及壓力水銀柱七百六十ミリメートルノ狀態ニ於ケル乾燥セル瓦斯一立方メートルニ付換算セルキログラム「カロリー」ノ數ヲ以テ表示スヘシ但シキログラム「カロリー」ハ一キログラムノ水ノ温度ヲ攝氏一度上昇セシムルニ要スル熱量トス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ瓦斯事業者ノ申請ニ依リ所定ノ装置以外ノ流水型瓦斯熱量測定装置ヲ指定スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル熱量測定ノ方法ハ其ノ指定ノ際之ヲ定ム

備考

瓦斯ノ成分ノ試驗並壓力及熱量ノ測定ニ使用スヘキ度量衡器及計量器ノ中左ニ揭クルモノハ各精密ニ左ノ測定ヲ爲シ得ルモノタルヘシ

瓦斯「メートル」	五十分ノ一リットル
水柱壓力計	二ミリメートル
温度計（熱量計ニテ水ノ温度測定ニ使用スルモノ）	攝氏十分ノ一度
同（前記以外ノモノ）	攝氏一度
「ビュレット」	十分ノ一立方センチメートル
衡器（成分試驗ニ使用スルモノ）	十分ノ一ミリグラム
同（前記以外ノモノ）	一グラム
晴雨計	一ミリメートル

第一圖　硫化水素含有反應試驗裝置ノ型式

(イ)　硝子製圓筒
(ロ)　硝子製時計皿（直徑約四十粍）
(ハ)　硝子製時計皿受臺（高サ約三十粍）
(ニ)　硝子製試驗紙懸鈎
(ホ)　硝子製瓦斯流入管（内徑約十粍コルク栓ヲ通シテ約五粍内方ニ突出ス）
(ヘ)　硝子製瓦斯流出管（内徑約十粍）
(ト)(チ)　コルク栓
(リ)　試驗紙（短邊十粍 長邊五十粍）

第二圖　硫黄含有量測定裝置ノ型式

(イ)　金屬製空氣供給臺（上面及側面ニ多數ノ空氣孔ヲ有ス）
(ロ)　金屬製瓦斯火口
(ハ)　喇叭狀硝子筒（上端ノ内徑約二十粍 下端ノ内徑約八十粍）
(ニ)　硝子製凝縮筒（内部ニ直徑約十五粍ノ硝子球ヲ充塡ス）
(ホ)　硝子製有孔板
(ヘ)　硝子製細管（下端ヲ細口トシ上端ハゴム栓上約五粍突出ス）
(ト)　硝子製廢瓦斯流出管（内徑約二十粍）
(チ)　ゴム栓
(リ)(ヌ)　コルク栓
(ル)　結晶炭酸「アムモニア」（表面風化セサルモノヲ用フ、一回ノ試驗ニ用フヘキ量ハ三十瓦乃至五十瓦）

第三圖　「アムモニア」含有量測定裝置ノ型式

(イ)　硝子製「アムモニア」吸收罎
(ロ)　硝子製瓦斯流入管
(ハ)　硝子製瓦斯流出管
本圖ニ揭クルモノ三箇ヲ直列ニ連結スルモノトス

◎商工省告示第二十二號

大正十四年九月三十日左記商業會議所ノ設立ヲ認可セリ

大正十四年十月一日　　商工大臣　片岡直温

一名稱　堺商業會議所
二地區　堺市ノ區域
三所在地　堺市

◎遞信省告示第千四百四十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

一市外通話區域及普通通話料ノ項中「特長」ト冠セルハ特別長距離通話區域」ヲ削リ竝各區域ニ冠セル「長」ヲ削リ「特長」ヲ「長」ニ改ム

（參照）遞信省告示第二百六十四號ハ市外通話區域及普通通話料ノ件ナリ

◎遞信省告示第千四百四十八號

左ノ地域内ニ於ケル出火ニ際シ電話ニ依リ之ヲ消防官署ニ報知セムトスルトキハ自働式局所屬ノ電話機ニ依ル場合ハ別ニ定ムル火災報知用電話番號ヲ用ヒ直接消防官署ト通話ヲ爲シ又手働式局所屬ノ電話機ニ依ル場合ハ所屬交換取扱局ヲ呼出シ單ニ「火事」ト告クヘシ但シ警鐘前ニ限ル

交換取扱局ニ於テ前項後段ノ申出ヲ受ケタルトキハ取扱上支障ナキ限リ最先順位ヲ以テ便宜ト認ムル消防官署ニ接續通話セシム

大正八年八月遞信省告示第四百二十九號ハ之ヲ廢止ス

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

東京市内、京都市内、名古屋市内、横濱市内、岐阜市内、新潟市内、札幌市内、函館市内、小樽市内、旭川市内、釧路市内、大阪中央電話局電話加入區域内、神戸中央電話局電話加入區域内、廣島郵便局電話加入區域内

（參照）遞信省告示第四百二十九號ハ本號ト同件ナリ

◎遞信省告示第千四百四十九號

大正十二年二月遞信省告示第三百三十二號中「自働電話所」ヲ「公衆電話所」ニ改ム

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

（參照）遞信省告示第三百三十二號ハ電話官署ノ通話及呼出取扱時間ニ關スル件ナリ

◎遞信省告示第千四百五十號

大正八年五月遞信省告示第六百四十號鐵道列車内及船舶内ニ於ケル郵便現業事務ノ所掌郵便局、線路區域及管轄遞信局ノ件別表大阪遞信局ノ下神戸鐵道郵便局ノ線路區域中「大阪九度山線」ヲ「大阪高野線」ニ改メ本日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

◎遞信省告示第千四百五十一號

東京中央郵便局ニ於テ拂渡スヘキ外國電信爲替ハ其ノ名宛人ノ居所東京中央電信局ノ電報直配達區域内ニ在ルトキハ東京中央電信局ヨリ受信報知電報配達ノ例ニ依リ之ヲ名宛人ニ送達ス

大阪中央郵便局ニ於テ拂渡スヘキ外國電信爲替ハ其ノ名宛人ノ居所大阪中央電信局ノ電報直配達區域内ニ在ルトキハ大阪中央電信局ヨリ受信報知電報配達ノ例ニ依リ之ヲ名宛人ニ送達ス

下關郵便局ニ於テ拂渡スヘキ外國電信爲替ハ名宛人ノ居所下關郵便局ノ電報直配達區域内ニ在ルトキハ下關郵便局ヨリ又下關電信局ノ電報直配達區域内ニ在ルトキハ下關電信局ヨリ受信報知電報配達ノ例ニ依リ之ヲ名宛人ニ送達ス

本告示ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

◎遞信省告示第千四百五十二號

支那國宛代金引換郵便物一箇每ニ要スル代金引換料左ノ如シ

大正十四年十月一日　　遞信大臣　安達謙藏

代金引換料	通常郵便物	八錢及代金引換金額二圓每又ハ其ノ端數每ニ一錢
	小包郵便物	二十錢及代金引換金額二圓每又ハ其ノ端數每ニ一錢

◎鐵道省告示第百八十九號

大正十四年十一月一日ヨリ山陰本線石見小濱停車場ヲ「戸田小濱」ト改稱ス

大正十四年十月一日　　鐵道大臣　仙石貢

正誤

去月二十九日遞信省告示第千四百二十三號前文中「改正ス」ハ「改正シ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス」ノ誤同告示第一ノ部十行「支那國」ハ衍同告示表中三欄及四欄「•二」ハ「二」同第千四百二十四號初行「萬國郵便條約」ハ「ストックホルム」締結萬國郵便條約」ノ孰モ誤同第千四百二十六號前文三行ノ次ニ「本告示ハ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス」ノ一行ヲ脱ス同第千四百三十六號二行「改正ス」ハ「改正シ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス」同五行及九行「フェロウ」ハ「フェロエ」同九行「フィンランド」國ハ「フィンランド」國」同七一七頁一段四行「フィンランド」國ノ下ニ「、」ヲ脫ス

同日同告示第千四百二十三號第一中「ニュージランド」ハ「ニュージーランド」同第千四百二十九行三行「本公告」ハ「本告示」ノ孰モ誤植又同日同告示第千四百三十六號中七一七頁一段五行地方以外ノノノ字ハ印刷不鮮明ノ分モアルヘシ

遞信書記官

敍任及辭令

◎大正十四年九月十二日

敍從四位　正五位勳三等功五級　中村大三
從五位勳三等功五級　今田莊一
從五位勳三等功四級　龜井佐一郎
從五位勳四等功五級　金田武
從五位勳三等　福永延之
同　早瀨川潔
從五位勳四等功五級　鳥谷末次
從五位勳三等功五級　山田松太郎

第3932号　本文

從五位勳四等功五級 廣瀨 英吉
從五位勳四等功四級 小林 三郎
從五位勳四等 田口 久廣
同 小林紀三次
(各通)
從五位勳三等 長谷川忠福
從五位勳四等 中村敏之介
從五位勳三等功五級 渡部 辰雄
從五位勳四等 鈴木 基行
從五位勳四等功五級 矢嶋永次郎
同 伊藤 鼎一
同 河野 祐壽
從五位勳四等 平川 爲助
從五位勳四等功五級 田邊 鐵彌
同 古川 榮三
從五位勳四等 林 文基
從五位勳四等功五級 南雲鈍太郎
敍正五位
正六位勳四等功五級 一木秀之介
同 安藤 成
正六位勳四等 仲庭長四郎
正六位勳四等功四級 眞籠 繁信
正六位勳四等功五級 宮舘 純一
正六位勳四等 藤堂 高象
同 加藤 全二
同 小林 萬里
同 木下 秀男
同 和田 重成
正六位勳四等功五級 本村 安全
正六位勳四等 角田 一郎
同 武藤 才壽
同 大島 直熊
正六位勳四等功五級 田中 半六
正六位勳四等 遠藤 孝次
同 中村 信一
同 小川 勝三
正六位勳四等功六級 宇津木甚太郎
正六位勳四等 岡 楢之助
同 眞野多二右衛門
正六位勳五等 衣川 績
(各通)
正六位勳四等 松村 一郎
正六位勳四等功五級 大阿久勇之進
同 森 龜太郎
正六位勳四等 西岡歡次郎
正六位勳四等功七級 山田久太郎
正六位勳四等 王村武四郎
同 上杉 龜雄
正六位勳五等 澤田 五郎
同 佐々木格太郎

同 稻村 貞麿
正六位勳五等功五級 村上 蛟一
正六位勳五等 南 敏造
正六位勳四等 都筑 眞菊
正六位勳五等 市村 穰
正六位勳四等 酒井幸之助
正六位勳五等功五級 栗嵜 末喜
正六位勳四等功六級 太田忠三郎
正六位勳四等 成田 良亮
正六位勳六等 逸見 直也
正六位勳四等 夏目新治郎
敍從五位
從六位勳五等 西吉原豐藏
從六位勳四等 野口俊太郎
從六位勳五等 宮野 源二
同 野村哲太郎
同 西尾 鹿衞
從六位勳四等 門馬 隆常
從六位勳五等 近藤 正
從六位勳四等 伊藤善之丞
從六位勳五等 三竝 治郎
同 山崎淺次郎
同 川上 愛彥
同 指宿 季盛
從六位勳四等 倉本 貞一
從六位勳六等 大立 勇
從六位勳五等 山崎 吉武
從六位勳六等 豐島已之次郎
同 宮原 茂
從六位勳五等 笹川 長太
同 南 一朗
同 根本德三郎
從六位勳六等 小川 潔
從六位勳五等 杉山愼一郎
同 佐々木泰助
(各通)
從六位勳六等 佐野哲太郎
從六位勳五等 小林 賤男
同 柴田 清
從六位勳六等 小田治太郎
同 船坂 賴吉
從六位勳五等 近藤千代藏
從六位勳五等 高田 茂一
從六位勳五等 龜ケ森浩一郎
從六位勳六等 高田 忠治
從六位勳四等 坪倉 駿夫
從六位勳六等 武波 恒太
同 有田 正次
同 平井 進

從六位勳五等 掛園 齋一
從六位勳六等 松波 三樹
從六位勳五等 日高萬壽夫
同 國吉 世勳
從六位勳六等 戸田 義行
同 清水 蘇雄
從六位勳四等 倉田 滿二
從六位勳五等 秋月 正彥
敍正六位
正七位勳五等 增田 潔男
同 眞部 學
正七位勳六等 黑田 豐治
正七位勳五等 臼井 覺二
同 若林治郎造
正七位勳六等 寺島政次郎
同 小泉伊太郎
同 久光 梅吉
正七位 本間 德治
正七位勳六等 齋藤 二郎
同 海田 官一
正七位 藤本 勇
同 伊藤 伴治
正七位勳五等 森 守人
(各通)
同 大政 正和
同 落合哲之助
正七位 立山 金次
同 間田 弘
正七位勳六等 久我 豐三
正七位勳五等 辻 一二
正七位 山崎 保光
正七位勳六等 村尾 正直
同 青木 義雄
同 清水精四郎
同 山崎文三郎
同 佐藤 常雄
正七位 權 寧世
同 大園仙次郎
同 住谷英之介
同 閑 德鎬
敍從六位
◎大正十四年九月二十七日
從七位勳三等 湯本武比古
敍從五位
◎大正十四年九月二十九日
正七位 橋元 已吉
敍從六位
從七位 中丸 叶
敍正七位
同 中山 鶴彥
敍正八位

◎大正十四年九月三十日
總領事正五位勳四等 林 久治郎
(各通)
大使館參事官正五位勳四等 太田 爲吉
任特命全權公使
敍高等官二等
任北海道帝國大學教授 淺見 義弘
敍高等官六等
岡田 弘
金原 壽郎
市川 隆等
櫻井 和市
(各通)
任靜岡高等學校教授
敍高等官七等
任朝鮮總督府道技師 下津 美行
敍高等官七等
臺灣總督府中央研究所技手兼臺灣總督府技手 澤田 兼吉
兼任臺灣總督府高等農林學校教授
敍高等官七等
正七位 土肥憲二郎
任地方技師
敍高等官六等
保健技師ニ任ス 松本 貞會
富山縣衞生技手 宮浦繁太郎
衞生技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
奈良女子高等師範學校助教授 堤 コトモ
公立專門學校教授ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
群馬縣師範學校教諭 關 源二
(各通)
和歌山縣立田邊中學校教諭 飯田 義夫
師範學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
福岡縣女子師範學校教諭兼福岡縣女子師範學校舍監 山田 秀雄
師範學校教諭兼師範學校舍監ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
師範學校教諭正七位 石田 直雄
同 熊本 隆治
(各通)
師範學校舍監ニ兼任ス
公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭正六位 佐伯 孝平
公立中學校長ニ任ス
高等官四等ヲ以テ待遇セラル
師範學校教諭從六位 岡田 嬴策
公立中學校長兼公立中學校教諭ニ任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
正七位 伍賀喜太郎
(各通)
公立中學校教諭正七位 高橋 英治
公立中學校長兼公立中學校教諭ニ任ス
高等官六等ヲ以テ待遇セラル

公立中學校長正六位 佐伯 孝平
公立中學校教諭ニ兼任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
公立中學校教諭ニ任ス 從六位 川口 武男
高等官六等ヲ以テ待遇セラル
公立中學校教諭從七位 吉田 章
公立中學校舍監ニ兼任ス
公立中學校教諭從六位 深海 菊松
公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭ニ任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
師範學校教諭兼師範學校舍監從七位 小倉 哲
山口縣平生高等女學校教諭 森岡 龜芳
(各通)
市立下關高等女學校教諭勳八等 西沖 虎藏
關 軍治
公立高等女學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
熊本市立高等女學校教諭 芥川 靜夫
公立高等女學校教諭ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
廣島縣深安郡川口尋常高等小學校訓導兼校長川口村農業補習學校助教諭川口村農業補習學校長深安郡川口村圖書館長勳八等 原田靜一郎
公立實業學校長ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
群馬縣立中之條農業學校教諭 關田 九平
(各通)滋賀縣彥根商業學校教諭 杉田 祥夫
陸軍步兵少尉正八位 加藤八三郎
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
廣島縣立西條農學校教諭兼廣島縣立西條農學校舍監廣島縣實業補習學校教員養成所教諭 栗原 直道
公立實業學校教諭兼公立實業學校舍監ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
陸軍三等軍醫正八位勳六等 村松 梧樓
學校衞生技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
東京府農林技手 大西 福作
地方農林技師ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
朝鮮土木技師ニ任ス 下津 美行
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
上海居留民團立日本高等女學校教諭正七位 水口民次郎
上海居留民團立日本高等女學校教諭ニ任ス
高等官六等ヲ以テ待遇セラル

上海居留民團立日本尋常高等小學校訓導兼校長從七位 長谷川繼太郎
上海居留民團立日本高等女學校教諭ニ兼任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
特命全權公使 奧山 清治
同 佐藤 尚武
同 鮭延 信道
外務省通商局長 佐分利貞男
(各通)
特命全權公使 山崎 馨一
外務省歐米局長 廣田 弘毅
海軍省法務局長 山田 三郎
陞敍高等官一等
休職司法省刑事局長 山岡萬之助
九州帝國大學教授 宮入慶之助
(各通)
依願免本官
內閣拓殖局書記官男爵 松田 正之
陞敍高等官五等
公使館二等書記官 永田 安吉
陞敍高等官四等
陞敍高等官五等
外務事務官 森 喬
副領事 乙津 鋒次
(各通)
外務事務官 塚本 毅
副領事 榑松宇平治
陞敍高等官六等
特命全權公使 松田 道一
和蘭國駐箚被仰付
同 林 久治郎
暹羅國駐箚被仰付
同 太田 爲吉
西班牙國駐箚被仰付
內閣書記官長 塚本 清治
(各通)
內閣拓殖局長 黑金 泰義
對支文化事業調査會委員被仰付
外務省條約局長 長岡 春一
救恤審査會審査員被仰付
內務省警保局長 松村 義一
社會局參與被仰付
中央職業紹介委員會委員被仰付
商工技師兼復興局技師 小倉 勉
依願免兼官
海軍教授 山崎 宗直
同 佐野 慶造
海軍教授兼海軍技師 小林 賢藏
(各通)
海軍技師 備田 成浩
同 鈴木 賢輔
陞敍高等官四等
海軍教授 生山 忠雄

同 大森 鑛三
同 山口 生知
同 高木 二郎
同 井出 德夫
海軍技師 深江 道善
同 高岡市太郎
同 中澤 悅三
同 武谷 强助
同 田中 綏稔
同 平松 香
同 高橋藤五郎
同 白石 顯二
同 田崎 正浩
(各通)
陞敍高等官五等
海軍法務官 平瀨 米藏
海軍技師 長澤新九郎
同 平賀 讓
同 猪俣 昇
同 飯塚 振作
同 田邊 一雄
同 三宅吉之助
同 近藤 正信
同 加藤 信吉
同 吉田憲太郎
同 船越 致水
同 織田 久八
同 沖 信治
同 並河 恒雄
同 大津 恒雄
同 大比良信雄
同 山成 策治
同 池谷 增太
同 脇川忠太郎
同 鬼塚 秀盛
同 杉生 仲市
陞敍高等官六等
依願免本官
商工技師 小倉 勉
(各通)
法制局長官 山川 端夫
內務次官 川崎 卓吉
簡易生命保險積立金運用委員會委員被仰付
朝鮮總督府理事官 中山 鶴彥
(各通)
朝鮮總督府郡守 明石 翁助
依願免本官
朝鮮總督府事務官 松本 伊織
朝鮮總督府林野調査委員會委員被仰付
臺灣總督府法院書記長 伊藤 正介
臺灣公立中學校教諭 渡邊 末造
臺灣總督府地方技師兼臺灣總督府中央研究所技師 穴澤 顯治

臺灣總督府地方技師 石渡 篤
臺灣總督府技師 荒木 安宅
同 上野 忠貞
(各通)
臺灣總督府地方技師 小野勇五郎
臺灣總督府法院判官 芝崎 政和
同 讚井 健
臺灣總督府地方理事官 八丁春太郎
同 松田 茂
臺灣總督府翻譯官 森 新一
臺灣總督府事務官 小林 光政
陞敍高等官四等
臺灣總督府技師 大塗 登一
臺灣總督府法院判官 矢田精一郎
(各通)
陞敍高等官五等
臺灣總督府師範學校教諭 松井 實
臺灣公立中學校教諭 小谷 富雄
臺灣總督府地方技師 美間 正道
臺灣公立中學校教諭 杉山 靖憲
臺灣公立高等女學校教諭 土岐 適
臺灣總督府高等商業學校教授 林 恒吉
臺灣總督府醫院醫官 藤田佑太郎
臺灣總督府地方理事官 今井 昌治
臺灣總督府技師 鈴木進一郎
(各通)
臺灣公立中學校教諭 本山 鐵雄
臺灣總督府師範學校教諭 本田乙之進
臺灣總督府高等農林學校教授 鹿討 豐雄
同 加納 瓦全
臺灣總督府地方技師 野田 兵三
臺灣總督府專賣局技師 青木 恒信
臺灣總督府交通局技師 茂木 亮蔵
臺灣總督府地方技師 鳥居 武男
臺灣總督府交通局技師 片山 活三
臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官 木原 圓次
陞敍高等官六等
陞敍高等官四等
關東廳技師 黑井 忠一
同 別府 良夫
同 長澤 圭五
旅順師範學堂教諭 城戸甚次郎
(各通)
旅順工科大學豫科教授兼旅順工科大學附屬工學專門部教授 秋貞 貫一
關東廳技師 中村 貞輔
關東廳遞信技師 高橋龜之助
陞敍高等官五等
關東廳警視 助川 德甞
同 竹友德太郎
關東廳理事官 天野 作藏
(各通)
關東廳警視 高山 勝司

第3932号 本文

關東廳理事官　森田　武雄
同　井上　理吉
關東廳技師　臼井　健三
關東廳理事官　岸本　恒重
關東廳觀測所技師　草間　茂登
陞敍高等官六等
三級俸下賜　南洋廳事務官　藤崎　供義
八級俸下賜　南洋廳警視　澤田　鍬治
一級俸下賜　南洋廳法院判事　松野　祐裔
五級俸下賜　同　奥津　一郎
四級俸下賜　南洋廳法院檢事　江崎　政行
一級俸下賜　南洋廳醫院醫長　高崎佐太郎
同　松永　照太
（各通）　南洋廳醫院醫官　上妻　丈夫
二級俸下賜
六級俸下賜　南洋廳採鑛所技師　池田　良介
南洋廳産業試驗所技師　今見　昇
七級俸下賜
（各通）　休職新潟縣技師　村形貞次郎
休職岩手縣書記官　久米　成夫
依願免本官
（各通）　正五位勳四等　林　郁彦
正七位勳六等　阿部政次郎
都市計畫長崎地方委員會委員被仰付
正五位勳四等　田中　文男
都市計畫岡山地方委員會委員被仰付
（各通）
正五位勳三等功五級　山田　基
依願都市計畫長崎地方委員會委員被免　斯波孝四郎
從四位勳三等　藤田秀太郎
依願都市計畫岡山地方委員會委員被免
（各通）　山口縣書記官　坪井　勸吉
陸軍砲兵中佐　吉見　隆治
都市計畫山口地方委員會委員被仰付
陸軍砲兵中佐　島　省三
都市計畫山口地方委員會委員被免
土木技師　土肥憲二郎
本職ヲ免ス
公立實業學校長　柏井　德一
陞シテ高等官二等ヲ以テ待遇セラル
公立中學校教諭兼公立中學校舍監　梶原　富次
（各通）
同　高木　岩八
兼職ヲ免ス
公立大學教授　赤松　純一
公立中學校長　山崎新太郎
同　大塚　末雄
同　土屋　員安
公立中學校教諭　海谷　秀雄
同　永島　藤三
（各通）

同　榊　亀吉
公立高等女學校教諭　神田　精輝
公立實業學校教諭　成富　辰二
願ニ依リ本職ヲ免ス
公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭　橋本　巳吉
公立實業學校長兼公立實業學校教諭　山本廣二郎
（各通）
願ニ依リ本職並兼職ヲ免ス
朝鮮産業技師　木村　喜德
願ニ依リ本職ヲ免ス
臺灣産業技師　末永　仁
陞シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル
奉天中學校長　熊谷　政直
陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル
安東高等女學校長兼安東高等女學校教諭　新島　百介
長春商業學校長兼長春商業學校教諭　森川　勉
鞍山中學校長兼鞍山中學校教諭　矢澤　邦彦
奉天高等女學校長兼奉天高等女學校教諭　安藤　基平
撫順高等女學校長兼撫順高等女學校教諭　八木　壽治
（各通）
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル（以上九月三十日內閣）
陸軍主計監正五位勳三等功五級　中村　大三
陸軍歩兵大佐從五位勳三等功五級　今田　莊一
陸軍歩兵大佐從五位勳三等功四級　亀井佐一郎
陸軍歩兵大佐從五位勳四等功五級　金田　武
陸軍一等主計正從五位勳三等　福永　延之
同　早瀬川　潔
陸軍工兵中佐從五位勳四等功五級　鳥合　末次
陸軍一等主計正從五位勳三等功五級　山田松太郎
陸軍歩兵大佐從五位勳四等功五級　廣瀬　英吉
陸軍歩兵大佐從五位勳四等功四級　小林　三郎
陸軍憲兵大佐從五位勳四等　田口　久廣
陸軍二等主計正從五位勳四等　小林紀三次
陸軍二等主計正從五位勳三等　長谷川忠福
陸軍歩兵中佐從五位勳四等　中村敏之介
陸軍騎兵大佐從五位勳三等功五級　渡部　辰雄
陸軍歩兵中佐從五位勳四等　鈴木　基行
陸軍砲兵中佐從五位勳四等功五級　矢嶋永次郎

同　伊藤　鼎一
同　河野　祐壽
陸軍砲兵中佐從五位勳四等　平川　爲助
陸軍砲兵中佐從五位勳四等功五級　田邊　鐵彌
同　古川　榮三
陸軍砲兵中佐從五位勳四等　林　文基
陸軍騎兵中佐從五位勳四等功五級　南雲純太郎
陸軍砲兵少佐正六位勳四等功五級　一木秀之介
陸軍歩兵中佐正六位勳四等功五級　安藤　成
陸軍砲兵少佐正六位勳四等　仲庭長四郎
陸軍砲兵少佐正六位勳四等功四級　眞籠　繁信
陸軍砲兵少佐正六位勳四等功五級　宮舘　純一
陸軍砲兵少佐正六位勳四等　藤堂　高象
陸軍輜重兵少佐正六位勳四等　加藤　全二
陸軍砲兵中佐正六位勳四等　小林　萬里
陸軍二等主計正正六位勳四等　木下　秀男
陸軍三等主計正正六位勳四等　和田　重成
陸軍二等軍醫正正六位勳四等功五級　本村　安全
陸軍歩兵中佐正六位勳四等　角田　一郎
同　武藤　才壽
同　大島　直熊
陸軍歩兵中佐正六位勳四等功五級　田中　半六
陸軍歩兵中佐正六位勳四等　遠藤　孝次
陸軍輜重兵少佐正六位勳四等　中村　信一
陸軍歩兵少佐正六位勳四等　小川　勝三
陸軍工兵少佐正六位勳四等功六級　宇津木甚太郎
陸軍航空兵少佐正六位勳四等　岡　楢之助
陸軍輜重兵少佐正六位勳四等　眞野多二右衛門
陸軍三等軍醫正正六位勳五等　衣川　續
陸軍二等軍醫正正六位勳四等　松村　一郎
陸軍歩兵中佐正六位勳四等功五級　大阿久勇之進
陸軍砲兵少佐正六位勳四等功五級　森　亀太郎
陸軍砲兵少佐正六位勳四等　西岡歡次郎
陸軍二等主計正正六位勳四等功七級　山田久太郎
陸軍騎兵少佐正六位勳四等　玉村武四郎
同　上杉　亀雄
陸軍歩兵少佐正六位勳五等　澤田　五郎
陸軍憲兵少佐正六位勳五等　佐々木格太郎
陸軍歩兵少佐正六位勳五等　稻村　貞磨

陸軍歩兵少佐正六位勳五等功五級　村上　較一
陸軍歩兵少佐正六位勳五等　南　敏造
陸軍歩兵少佐正六位勳四等　都筑　眞菊
陸軍歩兵少佐正六位勳五等　市村　穣
陸軍歩兵少佐正六位勳四等　酒井幸之助
陸軍歩兵少佐正六位勳五等功五級　栗寄　末喜
陸軍砲兵少佐正六位勳四等功六級　太田忠三郎
陸軍砲兵少佐正六位勳四等　成田　良亮
陸軍砲兵少佐正六位勳六等　逸見　直也
陸軍三等主計正正六位勳四等　夏目新治郎
陸軍三等獸醫正從六位勳五等　西吉原豊藏
陸軍三等獸醫正從六位勳四等　野口俊太郎
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　宮野　源二
同　野村哲太郎
陸軍憲兵少佐從六位勳五等　西尾　鹿衛
陸軍憲兵少佐從六位勳四等　門馬　隆常
陸軍憲兵少佐從六位勳五等　近藤　正
陸軍歩兵少佐從六位勳四等　伊藤善之丞
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　三竝　治郎
同　山崎淺次郎
同　川上　愛彦
同　指宿　季盛
陸軍歩兵少佐從六位勳四等　倉本　貞一
（各通）
陸軍歩兵少佐從六位勳六等　大立　勇
陸軍砲兵少佐從六位勳五等　山崎　吉武
陸軍砲兵少佐從六位勳六等　豊島已之次郎
陸軍歩兵少佐從六位勳六等　宮原　茂
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　笹川　長太
同　南　一朗
同　根本德三郎
陸軍輜重兵少佐從六位勳六等　小川　潔
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　杉山愼一郎
陸軍三等主計正從六位勳五等　佐々木泰助
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　佐野哲太郎
陸軍砲兵少佐從六位勳六等　小林　賤男
陸軍砲兵少佐從六位勳五等　柴田　清
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　小田治太郎
陸軍歩兵少佐從六位勳六等　船坂　賴吉
陸軍砲兵少佐從六位勳六等　近藤千代藏
陸軍三等軍醫正從六位勳五等　高田　茂一
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　龜ヶ森浩一郎
陸軍三等主計正從六位勳六等　高田　忠治
陸軍砲兵少佐從六位勳四等　坪倉　駿夫
陸軍歩兵少佐從六位勳六等　武波　恒太
同　有田　正次
陸軍騎兵少佐從六位勳六等　平井　正進

陸軍歩兵少佐從六位勳五等　掛園　齋一
陸軍歩兵少佐從六位勳六等　松波　三樹
陸軍三等獸醫正從六位勳五等　日高萬壽夫
陸軍歩兵大尉從六位勳五等　國吉　世勳
陸軍砲兵少佐從六位勳六等　戸田　義行
同　清水　蘇雄
陸軍騎兵少佐從六位勳四等　倉田　滿二
陸軍砲兵大尉從六位勳五等　秋月　正彦
陸軍一等主計正七位勳五等　増田　潔男
陸軍歩兵大尉正七位勳五等　眞部　學
陸軍歩兵大尉正七位勳六等　黒田　豊治
陸軍砲兵大尉正七位勳五等　臼井　覺二
陸軍輜重兵大尉正七位勳五等　若林治郎造
陸軍歩兵大尉正七位勳六等　寺島政次郎
同　小泉伊太郎
同　久光　梅吉
陸軍砲兵大尉正七位　本間　德治
陸軍歩兵大尉正七位勳六等　齋藤　二郎
同　海田　官一
陸軍歩兵大尉正七位　藤本　勇
陸軍騎兵大尉正七位　伊藤　伴治
陸軍歩兵大尉正七位勳五等　森　守人
同　大政　正和
陸軍輜重兵大尉正七位勳五等　落合哲之助
陸軍砲兵大尉正七位　立山　金次
陸軍輜重兵大尉正七位　間田　弘
陸軍歩兵大尉正七位勳六等　久我　豊三
陸軍輜重兵大尉正七位勳五等　辻　一二
陸軍騎兵大尉正七位　山崎　保光
陸軍歩兵大尉正七位勳六等　村尾　正直
同　青木　義雄
同　清水精四郎
同　山崎文三郎
陸軍工兵大尉正七位勳六等　佐藤　常雄
陸軍歩兵大尉正七位　權　寧世
陸軍砲兵大尉正七位　大閑仙次郎
陸軍輜重兵大尉正七位　往谷英之介
陸軍歩兵大尉正七位　閔　德鎬
特旨ヲ以テ位一級被進（九月三十日宮內省）
故從七位勳三等　湯本武比古
特旨ヲ以テ位四級追陞セラル（九月三十日同）
主猟官侯爵　德川　義親
依願免本官（九月三十日同）
特命全權公使　松田　道一
國際聯盟帝國事務局長ヲ免ス

同　奥山　清治
同　佐藤　尚武
（各通）　同　鮎延　信道
同　山崎　馨一
賜二級俸
同　林　久治郎
（各通）　同　太田　爲吉
賜三級俸
賜二級俸　公使館二等書記官　永田　安吉
公使館一等通譯官　北澤　泰三
同　若林　高彦
領事官補　木下　武雄
外交官補　筒井　潔
同　石井　康
領事官補　宮崎　申郎
同　祥瑞　專一
（各通）
副領事　市河彦太郎
外交官補　大久保利隆
賜一級俸
副領事　乙津　鋒次
賜二級俸
外務事務官　塚本　毅
賜七級俸
副領事　樽松宇平治
賜二級俸（以上九月三十日外務省）
（各通）
防疫官　勝俣　稔
同　黒田　敎慧
（各通）
千葉縣へ出張ヲ命ス
內務技師　氏原　佐藏
同　內藤　和行
靜岡縣へ出張ヲ命ス（以上九月三十日內務省）
防疫官　飯村　保三
山形、秋田、宮城縣へ出張ヲ命ス（九月三十日同）
愛媛縣書記官　郡　茂德
府縣制第六十五條第三項ニ依リ愛媛縣參事會員ヲ命ス
市制第百七十條第二項ニ依リ愛媛縣市吏員懲戒審查會員ヲ命ス
町村制第百五十條第二項ニ依リ愛媛縣町村吏員懲戒審查會員ヲ命ス
埼玉縣書記官　田島　義士
市制第百七十條第二項ニ依リ埼玉縣市吏員懲戒審查會員ヲ命ス
町村制第百五十條第二項ニ依リ埼玉縣町村吏員懲戒審查會員ヲ命ス（以上九月三十日同）
專賣局參事　山下　博敏
補水戸地方專賣局長

水戸地方專賣局副參事　光山　盛貞
專賣局長心得ヲ免ス
千葉縣書記官　山下　謙一
株式會社千葉縣農工銀行監理官ヲ命ス
岩手縣書記官　坂本　暢
株式會社岩手縣農工銀行監理官ヲ命ス
佐賀縣書記官　水上　七郎
株式會社日本勸業銀行佐賀縣地方監理官ヲ命ス（以上九月三十日大藏省）
歩兵第六十一聯隊附陸軍歩兵中尉　山東德三郎
免本職待命被仰付（九月三十日陸軍省）
近衛歩兵第四聯隊大隊長陸軍歩兵少佐　加藤　一平
免本職補歩兵第一聯隊附
歩兵第一聯隊附陸軍歩兵少佐　加藤　一平
慶應義塾大學服務ヲ命ス
近衛歩兵第二聯隊附陸軍歩兵大尉　岡澤　精三
免本職補近衛歩兵第四聯隊附
近衛歩兵第四聯隊附陸軍歩兵大尉　岡澤　精三
法政大學服務ヲ命ス
歩兵第四十六聯隊附陸軍歩兵少佐　田部　章一
免本職補歩兵第一聯隊附
歩兵第一聯隊附陸軍歩兵少佐　田部　章一
慶應義塾高等部服務ヲ命ス
花園中學服務陸軍歩兵大尉　村田宗太郎
兼臨濟宗大學服務ヲ命ス
本郷聯隊區司令部部員陸軍歩兵少佐　高木　喬
免本職補歩兵第一聯隊附
歩兵第一聯隊附陸軍歩兵少佐　高木　喬
遞信官吏練習所服務ヲ命ス
陸軍歩兵大尉　藤岡　忠
補近衛歩兵第一聯隊附
近衛歩兵第一聯隊附陸軍歩兵大尉　藤岡　忠
水產講習所服務ヲ命ス
歩兵第十八聯隊附陸軍歩兵中尉　小川伊佐雄
免本職補歩兵第六聯隊附
歩兵第六聯隊附陸軍歩兵中尉　小川伊佐雄
愛知縣實業學校服務ヲ命ス
愛知縣安城農林學校服務陸軍歩兵大尉　川生　馨
兼愛知縣實業教員養成所服務ヲ命ス

歩兵第六十一聯隊附陸軍歩兵大尉　楠山英太郎
免本職補歩兵第三十七聯隊附
歩兵第三十七聯隊附陸軍歩兵大尉　楠山英太郎
堺市立堺商業學校服務ヲ命ス
歩兵第三十七聯隊中隊長陸軍歩兵大尉　中田　敏雄
免本職補歩兵第三十七聯隊附
歩兵第三十七聯隊附陸軍歩兵大尉　中田　敏雄
明星商業學校服務ヲ命ス
歩兵第二十二聯隊附陸軍歩兵中尉　原田　義尚
宇和島商業學校服務ヲ命ス
歩兵第二聯隊附陸軍歩兵中尉　佐々木慶雄
免本職補歩兵第十五聯隊附
歩兵第十五聯隊附陸軍歩兵中尉　佐々木慶雄
群馬縣立小泉農業學校服務ヲ命ス
歩兵第九聯隊大隊副官陸軍歩兵大尉　宇都宮　巧
免本職補歩兵第九聯隊附
歩兵第九聯隊附陸軍歩兵大尉　宇都宮　巧
滋賀縣立神崎商業學校服務ヲ命ス
近衛歩兵第四聯隊附陸軍歩兵少佐　野津甚三郎
免本職補近衛歩兵第四聯隊大隊長
廣島衛戍病院附陸軍一等軍醫　廣瀬　信善
依願休職被仰付
豫備役被仰付　陸軍歩兵中尉　山東德三郎
陸軍歩兵大尉　安藤市之輔
（各通）　陸軍一等軍醫　橋本　次郎
陸軍二等軍醫　青景　金吾
依願豫備役被仰付
陸軍騎兵少尉　山口　省介
（各通）　同　久世　順吉
陸軍三等軍醫　蒲原　清治
依願退役被仰付（以上九月三十日同）
日進副長海軍中佐　竹原九一郎
免本職横須賀鎭守府附被仰付（九月三十日海軍省）
第三潜水隊機關長兼呂號第十一潜水艦乘組海軍機關少佐　佐々木猪三郎
（各通）　第二十三潜水隊機關長兼呂號第四潜水艦乘組海軍機關大尉　三善　孝
呂號第十九潜水艦乘組兼呂號第十七潜水艦乘組海軍機關中尉　三宅　正彦
免兼職

第3932号本文

（第三種郵便物認可）

官廷錄事

◎勲記勲物使

◎勲記勲物使

◎遞信大臣ヨリ左ノ通申出ヅ

◎遞信大臣ヨリ左ノ通申出ヅ

◎外國貿易額

◎外國貿易額

◎官廳事項

◎官廳事項

◎學事

◎學事

◎陸海軍

◎陸海軍

◎叙任及辭令

◎叙任及辭令

◎彙報

◎彙報

第3932号　本文

第 3932 号 本文

○通運

◉地方鐵道運輸開始 福井縣吉田郡志比谷村志比第五號十五番地 永平寺鐵道株式會社所屬鐵道永平寺永平寺門前間三哩六分 去月十六日ヨリ運輸營業開始ノ旨屆出アリタリ 其哩程左ノ如シ

(鐵道省)

驛名	所在地	哩程
永平寺	京都電燈越前電氣鐵道線既設驛	
諏訪間	福井縣吉田郡志比谷村大字諏訪間	永平寺、諏訪間間 〇・六
京善	同縣同郡同村大字京善	諏訪間、京善間 一・二
荒谷	同縣同郡同村大字荒谷	京善、荒谷間 一・〇
永平寺門前	同縣同郡同村大字志比	荒谷、永平寺門前間 〇・八

○衞生

◉國際傳染病報告 本件ニ關シ去月二十六日在新嘉坡國際聯盟保健部東局ヨリ左ノ通電報アリタリ(去月二十四日本欄內參看)(內務省)

自九月十三日至同十九日國際傳染病狀況

地名	「ペスト」患者	(四月二十六日以降)累計	死者	(同上)累計	「コレラ」患者	(同上)累計	死者	(同上)累計	痘瘡患者	(同上)累計	死者	(同上)累計
上海	—	—	—	—	一六	二〇三	五	一四九	—	二	—	五
横濱	—	—	—	—	七	四二	—	—	—	一	—	一
神戸	—	—	—	—	二	八	—	—	—	—	—	—
西貢及コロン	—	一	二	六	—	一	—	四	—	—	—	—
ポートサイド	一	九	—	—	—	—	—	—	—	六	—	—
馬尼剌	—	—	—	—	五	三〇	三	六	—	—	—	—
コロンボ	一	二六	一	二三	—	—	—	一	—	—	—	—
孟買	—	—	—	六五	—	—	—	八	三	一六一	—	一一五
カルカッタ	—	—	—	一〇	—	—	七	二六二	五	六四七	五	五五八
カラチ	—	—	一	九	—	—	—	—	一	二七	二	一二
マドラス	—	—	—	—	—	—	二	一五	二三	四五三	七	一九七
ネカパタム	—	—	—	—	—	—	九	一三	—	—	—	—
蘭貢	—	—	一四	三二一	—	—	—	二九	一	二六五	一	一二七

(摘要) コロンボニ於テハ鼠族ヲ檢査セルモ有菌鼠ヲ發見セス

下關、基隆、スラバヤ、釜山、ペラワンデリー、門司、ボルネオ、大阪、彼南、スェズ運河地帶、シーケルズ、ロレンゾマルケス、マカッサル、ケープタウン、オーストラリア、新嘉坡、般谷、サマラン、モンバサ、長崎、ポートスエッテンハム、アレキサンドリア、香港、タマテーブ、ダルバン、バタビア、マスサワ、マリシアス發生ナシ

(記事) 死亡率概數ハ新嘉坡二六・六三、般谷一八・八〇、マリシアス一九・七〇、香港(自九月六日至同十二日)二一・六〇ナリ

(訂正) 本月二十四日本欄揭載(自九月六日至同十二日)本週報中カルカッタ「痘瘡患者七四」、「同死者七四」トアルヲ「痘瘡患者二」、「同死者二」ニ、ペラワンデリー「痘瘡患者五」、「同死者四」トアルヲ「發生ナシ」ニ孰モ訂正ス

◉營口「コレラ」發生 本件ニ關シ關東廳警務局ヨリ左ノ如ク電報アリタリ(內務省)

昨日營口新市街ニ支那人男一疑似「コレラ」發生本日眞性ト決定ス

◉上海「コレラ」狀況 本件ニ關シ在上海防疫官入倉榮瞳ヨリ左ノ如ク電報アリタリ(去月二十八日本欄內參看)(內務省)

昨二十七日居留地西區內外綿會社ニテ日本人一、中區河南路日本人商店ニテ支那人一「コレラ」發生ス日本人患者累計二十四居留民團防疫班ハ管下ヲ消毒スル筈

帝國議會

○衆議院

◉議員退職 宮城縣第一區選出議員伊澤平左衞門ハ去月二十九日貴族院議員ニ任セラレタルヲ以テ退職者ト爲リタリ

在外公館報告

◉牛莊「コレラ」狀況 本件ニ關シ在牛莊日本帝國領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(去月二十一日本欄內參看)(內務省)

支那人「コレラ」患者一名當地ニ發生七日朝死亡セリ

觀象

◉東京氣象 九月二十八日 天氣概況 曇

平均氣壓(海面ノ度) 七六三・三粍　平均雲量 一〇・〇
平均氣溫 一八・五度　日照時間 一・四時
平年ヨリ〇・六度低シ　平均風速度 二・五米
最高氣溫 二三・五度　最大風速度 三・七米
最低氣溫 一三・八度　最多風向 北北西
前五日間平均氣溫 一九・三度　降水總量 —
平年ヨリ〇・三度低シ　一時間最大降水量 —
平均濕度 八五%
平均水蒸氣張力 一三・三粍　記事 —

(中央氣象臺)

廣告

◉證狀無效

第一八三六五號 帆船第二若戎丸船舶國籍證書 大正十四年九月七日附(滅失) 中谷敏雄
第四二七號 一等機關士免狀 明治三十一年七月二十六日附 上山仲三郎
第九一八號 甲種船長免狀 同四十年十月一日附 賀集知一
第一九七號 同 同三十年五月十八日附(以上紛失) 村瀨永太郎
第一八三六號 甲種二等運轉士免狀 大正二年四月十一日附 河本賢三郎
第一三四一二號 丙種機關士免狀 同四年四月三十日附(以上流失) 難波治吉

右屆出ニ依リ孰モ無效トス

大正十四年十月 遞信省

◉町村役場位置變更

飾磨郡谷內村役場位置ヲ同村大字鹿ノ倉百九十八番ノ一ニ變更ノ件許可セリ

大正十四年十月 兵庫縣

長生郡本納町ハ其役場位置ヲ去月二十日大字本納千九百七番地ニ一時變更セリ

大正十四年十月 千葉縣

◉村界變更

耕地整理施行ニ伴ヒ額田郡幸田村ト幡豆郡豐坂村トノ境界ヲ左ノ通變更シ本月ヨリ施行ス

大正十四年十月 愛知縣

額田郡幸田村大字菱池

字	地番
樂瀬	一〇ノ二
同	一三ノ三
同	一三ノ四
同	一四ノ二
同	一五
同	一六
同	一七〇ノ合ノ一
同	一八ノ一
同	一八ノ二
同	一九
同	二〇
同	二〇ノ二
同	二一ノ三
同	二一ノ四
同	二二ノ二
同	五八
同	五九ノ二
同	六〇ノ二
黑緣	六七ノ二
同	六九ノ二

之ニ附隨スル國有地

右幡豆郡豐坂村大字永野ニ編入

幡豆郡豐坂村大字永野

字	地番
北池	三五
同	三六
同	三七ノ三
同	三九ノ四
同	三九ノ五
浪打	六八ノ三
同	六八ノ六
同	六九
同	七〇
同	七〇ノ一
同	七一
同	七一ノ一
同	七二
同	七三
同	七四
同	七五
同	七六
同	七七
同	七八
同	七九
同	八〇
同	八一
同	八二
山崎	一三ノ一
同	一二ノ五

之ニ附隨スル國有地

右額田郡幸田村大字菱池ニ編入

◉購買入札

一石炭(地炭發熱量七千五百カロリー以上) 豫定數量百万斤
一契約條項ヲ示ス場所 入札心得書、契約書案等當局庶務課ニテ熟覽ノコト

一競爭執行場所及日時 本月八日午前十一時當局ニ於テ入札、即時開札ス
一入札ノ保證金額 各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札者資格 大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

大正十四年十月一日 仙臺地方專賣局

一綿糸(鐘紡十四番品一駄四十八貫匁以上) 三十駄 本所納
一契約條項ヲ示ス場所 當所
一入札並開札ノ日時及場所 本月十二日午前十一時當所ニ入札書差出スヘシ 即時開札但シ郵便電報入札差支ナシ
一入札保證金 見積價格ノ百分ノ五以上
一入札資格 大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

大正十四年十月一日 小菅刑務所

一品名數量
五百八十アムペア時(チュードル型)蓄電池 五十二組
二、納入場所 東京市內又ハ隣接町村內ニ於テ遞信省ノ指示スル所
三、入札及開札日時 本月六日午前十一時限入札、即時開札
四、入札場所 當局需品課購買係
五、契約事項閲覽場所 同係
六、入札保證金額及納付日時 見積入札價格ノ百分ノ五以上、入札當日午前十時限
七、入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

大正十四年十月一日 遞信省經理局

◉賣拂入札

第一號 紺絨外套九七箇外一四點 丸龜步兵第十二聯隊保管
第二號 軍帽一七九箇外八點 松山步兵第二十二聯隊保管
第三號 毛布 八三〇箇 德島步兵第四十三聯隊保管
第四號 紺絨外套四六一箇外六點 高知步兵第四十四聯隊保管
第五號 毛布五〇箇外一六點 善通寺騎兵第十一聯隊保管
第六號 紺絨外套五三箇外一五點 善通寺山砲兵第十一聯隊保管
第七號 紺絨外套一九〇箇外一六點 善通寺工兵第十一大隊保管
第八號 紺絨外套二〇箇外一〇點 善通寺輜重兵第十一大隊保管
第九號 毛布五九箇外二七點 善通寺衞戍病院保管
第一〇號 毛布八五箇外二點 德島衞戍病院保管
第一一號 毛布二三〇箇外二七點
第一二號 紺絨軍袴二二三箇外一五點
以上善通寺元步兵第四十三聯隊跡在庫

一、入札心得書及契約書案ハ當部ニ於テ示ス
二、入札希望者ニシテ品目員數表ヲ要スル者ハ當部へ照會次第送付ス
三、現品ハ本月五日ヨリ九日マテノ間ニ於テ各保管部隊ニ就キ熟覽ノコト
四、本月十日午前十時限當部ニ入札(郵便電報入札差支ナシ)ノコト即時開札ス
五、入札保證金 各自見積價格ノ百分ノ五以上ヲ入札時刻前ニ當部ニ納付ノコト

大正十四年十月一日 第十一師團經理部

一鐵鋼屑 三〇、〇〇〇瓩 汐留倉庫扱東京驛裏手構內渡
入札並開札 本月十四日午前十一時
下見 同十二日午後二時購買掛ニ集合即時案內ス
一鐵鋼屑 四〇、〇〇〇瓩 汐留倉庫扱芝浦埋立地構內渡
入札並開札 本月十五日午前十一時
下見 同十三日午後二時田町驛前ニ集合即時案內ス
一以上二件契約書追加條項 本品ハ所定ノ區域內ニ現存スルモノヲ前記重量ト見做シ引渡ヲ爲スコト
一入札場所 當局經理課
一公示書類 同課ニテ熟覽ノコト
一入札保證金 各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金 契約總代金ノ同上(同上)

大正十四年十月一日 東京鐵道局

◉商業登記

◉營口水道電氣株式會社(就任)

大正十四年九月五日左記ノ者株主總會ノ決議ニ依リ取締役ニ選任就任シタリ

見坊田鶴雄 營口北本街三百二番戸

右大正十四年九月十九日登記

在牛莊日本帝國領事館

◉株式會社奉天劇場(變更)

一大正十四年八月十二日監査役赤松序一ハ其住所ヲ奉天聞田町七番地ニ移轉ス

◉國際運送株式會社(支店設立)

一大正十四年八月十日支店ヲ朝鮮元山府本町四丁目十二番地ニ設立ス

右大正十四年八月二十一日登記

◉株式會社滿蒙牧場(變更)

一大正十四年八月十五日資本減少ニ因リ資本ノ總額ヲ金四十五万圓ト變更ス

右大正十四年八月二十八日登記

◉合名會社(支店設立)

一商號 合名會社長谷川組
一本店 大連市神明町六番地
一支店 奉天千代田通二十七番地
一目的 土木建築工事ノ請負施工並設計監督及之ニ附帶スル事業ノ經營其他建築材料ノ販賣
一設立ノ年月日 大正十一年四月二十二日
一代表社員ノ氏名 長谷川辰次郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格
金三十九万五千圓 長谷川辰次郎 大連市神明町六番地
金一万五千圓 高木晴彥 大連市久方町九番地
金一万五千圓 長谷川國一 大連市久方町九番地
金一万圓 岡孝雄 大連市久方町九番地
金一万二千五百圓 長谷川藤太郎 大連市神明町六番地
金二千五百圓 劉明彰 大連市久方町九番地
金一万二千五百圓 近藤直一 安東縣驛前通
金七千五百圓 石井本一 大連市惠比須町二十五番地
金一万圓 長谷川甚雄 大連市神明町六番地
金五千圓 長谷川直美 新潟縣南蒲原郡本成寺村字新保七百六十四番地
金一万圓 脇田禎一郎 和歌山縣伊都郡應其村字名古曾六百五十二番地
金五千圓 中西嘉三郎 東京市四谷區市ケ谷長延寺町六番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿十箇年

右大正十四年九月一日登記

◉和歌山皮革株式會社(變更)

一大正十三年十月二十八日株金額ヲ左ノ通リ變更ス
各株ニ付拂込ミタル株金額 金十五圓

右大正十四年九月四日登記

◉合資會社(設立)

一商號 合資會社永茂木廠
一本店 奉天松島町十九番地
一目的 材木ノ賣買同依托販賣及ヒ材木ノ倉庫業
一設立ノ年月日 大正十四年八月一日
一代表社員ノ氏名 篠原久治
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ヒ責任
勞務及信用 無限 篠原久治 奉天松島町十九番地
金五千圓 有限 吉岡フジ 哈爾賓透籠街十一番地
金二千圓 有限 櫻井常之助 大連市岩代町二十二番地
金五百圓 有限 篠原ヨシノ 奉天松島町十九番地
一存立ノ時期 設日ノ日ヨリ滿十箇年

右大正十四年九月七日登記

◉株式會社滿洲銀行(變更)

一監査役杉原佐一郎、高田友吉ハ大正十四年八月二十日重任ス

右大正十四年九月八日登記

◉株式會社(變更)

一大正十四年八月一日本店ヲ支那青島濟寧路ヨリ當管內ニ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號 中國葉煙草株式會社
一本店 支那奉天省奉天十間房第四區
一目的 一、葉煙草ノ栽培及賣買 二、倉庫業運送業及物産ノ賣買 三、有價證券及不動産ノ所有又ハ擔保貸付 四、前各號ニ關スル金融又ハ附帶スル業務
一設立ノ年月日 大正九年六月一日
一資本ノ總額 金二百万圓
一一株ノ金額 金五十圓
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額 金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法 所轄登記所ノ公告スル新聞紙ニ揭載ス
一取締役ノ氏名住所
大丸鐵太郎 青島濟寧路一號
小西和 東京府豐多摩郡千駄ケ谷町原宿七〇
中谷近太郎 支那奉天十間房大安煙公司社宅內
會社ヲ代表スヘキ取締役 大丸鐵太郎
一監査役ノ氏名住所
石井久次 青島恩縣路二號
山本悌二郎 東京府荏原郡目黑村大字上目黑字五本木二六五八
高丙瓚 支那奉天十間房大安煙公司社宅內
一存立ノ時期 會社設立ノ日ヨリ滿五十箇年

右大正十四年九月九日登記

◉滿蒙證券株式會社(變更)

一大正十四年九月十五日大連市山縣通五番地ノ支店ヲ廢止ス

右大正十四年九月十六日登記

◉和歌山皮革株式會社(追加)

一大正十四年六月二十七日清算結了

◉撫順窯業株式會社(變更)

一大正十四年八月二十五日取締役川路喜平ハ其住所ヲ撫順東三番町二三ノ二五番地ニ移轉ス

右大正十四年九月十七日登記

在奉天日本帝國總領事館

◉産業組合登記

◉無限責任脇山信用購買販賣利用組合變更

大正十四年六月三日認可ニヨリ同月六日主タル事務所ヲ左ノ通リ移轉ス

早良郡脇山村脇山千七百四十五番地ノ一

第3932号 本文

理事増員ニ付大正十四年六月三日左ノ通リ就任ス
緒方三平　早良郡脇山村脇山千七百七十四番地
結城卯吉　同郡同村小笠木五百三十一番地
眞子作太郎　同郡同村板屋四百番地
大正十四年七月二十四日登記
福岡區裁判所西新町出張所

●有限責任赤間信用購買販賣利用組合變更
理事伊豆次之助ハ大正十四年七月九日其住所ヲ福岡縣宗像郡赤間町赤間九百八十三番地ニ移轉ス
大正十四年七月二十四日登記
福岡區裁判所東郷出張所

●有限責任元岡信用購買販賣利用組合變更
一大正十四年四月十四日認可ニ因リ出資拂込ノ方法中第二項ヲ左ノ通リ變更ス
第一回後ノ拂込金ハ配當スヘキ剰餘金ヨリ拂込金ニ充ツルモノヽ外七月末及十二月末ニ金二圓五十錢宛二箇年ニ拂込ムコト但シ組合員ノ都合ニ因リ數回分若クハ全額ヲ一時ニ拂込ムコトヲ得

●有限責任怡土信用購買販賣組合變更
一大正十四年四月九日認可ニ因リ出資拂込ノ方法中第二項ヲ左ノ通リ變更ス
第一回後ノ拂込金ハ配當スヘキ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外毎年四月末及九月末ニ金四圓宛拂込ムコト
大正十四年七月十四日登記
福岡區裁判所周船寺出張所

●有限責任植木町信用利用組合事務所移轉
一大正十四年六月十二日事務所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
福岡縣鞍手郡植木町五百四十六番地

●有限責任木屋瀬信用購買組合變更
一理事監事増員ニ依リ大正十四年七月一日左記ノ通リ就任ス
理事　蟹川政一郎　福岡縣鞍手郡木屋瀬町野面二千百九十四番地
理事　木原万太郎　同縣同郡同町金剛八百一番地
監事　吉田吾郎　同縣同郡同町金剛九百六十一番地
大正十四年七月二十四日登記
直方區裁判所植木出張所

●有限責任宮永信用組合變更
一理事北原茂ハ大正十二年十月十二日死亡ス
一理事柴田恭壯篠崎幸助早原德壽吉野乙松ハ大正十四年一月二十七日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
塩田才藏　鞍手郡中村宮永五百七十二番地
一監事毛利代三郎毛利門藏吉野和三八同日重任ス
右大正十四年七月二十五日登記
直方區裁判所福丸出張所

●有限責任串毛信用購買組合
一大正十四年二月二十一日目的中左ノ一項ヲ加フ
農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ヲナスコト
一出資拂込方法　出資一口ノ金額ヲ金二十圓トス出資第一回拂込額ヲ金四圓トス　毎月末金六十錢宛拂込ムコト　毎年六月末十二月末金四圓宛拂込ムコトニ各變更シタリ
右大正十四年七月二十三日登記
八女區裁判所黒木出張所

●無限責任東谷信用購買販賣利用組合事務所移轉
大正十四年六月二十二日主タル事務所ヲ左ノ處ニ移轉セリ
企救郡東谷村新道寺三百五十八番地ノ一
右大正十四年七月二十五日登記
小倉區裁判所中谷出張所

●有限責任宇島信用購買販賣組合變更
一理事大木熊太郎ハ大正十四年七月十五日辭任ス
大正十四年七月二十四日登記
行橋區裁判所八屋出張所

●有限責任南木信用購買組合變更
大正十四年六月十八日認可ニ依リ名稱及區域ヲ左ノ通リ變更ス
名稱　有限責任金田信用購買組合
區域　田川郡金田町
大正十四年七月二十四日登記
田川區裁判所金田出張所

●有限責任平道信用購買生産販賣組合變更
一理事一名缺員ノ處大正十四年七月一日左記ノ者新ニ理事ニ就任ス
加藤肇　大分縣速見郡豊岡町大字平道千六百五十一番地
右大正十四年七月十五日登記
杵築區裁判所日出出張所

●有限責任宮砥信用購買販賣組合變更
理事全員任期滿了ニ因リ大正十四年七月十五日左記ノ者理事ニ就任ス
工藤鶴一郎　直入郡宮砥村大字次倉六百二十六番地　堀彦一　同所四千七百二十五番地　工藤一藏　同村大字九重野四千九百三十番地　宮武庄三郎　同所一千八百五十四番地ノ一　後藤房太郎　同所二千五百八十七番地　坂田伊三郎　同所三千七百十四番地　佐田恭一郎　同村大字次倉三千六百八十四番地
監事全員任期滿了ニ因リ大塚東作ハ大正十四年七月十五日重任ス左記ノ者同日監事ニ就任ス
阿南末廣　直入郡宮砥村大字次倉二千四百七十一番地　堀壽百　同所五千二百九十八番地　井津野十郎　同村大字九重野三百二十二番地　板井義信　同所九百六十九番地
右大正十四年七月二十四日登記
竹田區裁判所玉來出張所

●有限責任野上村信用購買組合更正
理事監事ノ住所ヲ左ノ通リ更正ス
理事　佐藤亨　玖珠郡野上村大字野上千三百十六番地
同　森本萬次郎　同所千三百十二番地ノ三
同　財津園吉　同所千五百四十三番地
監事　佐藤謙市　同所千三百十六番地
同　日野文市　同所三千五百八十番地
大正十四年七月二十日登記
日田區裁判所町田出張所

●有限責任西武田信用販賣購買利用組合變更
一監事濱添喚五郎ハ大正十四年六月二十日其住所ヲ戸籍編製ニ付左ノ通リ變更ス
鹿兒島郡西武田村田上二千九百二十七番地
大正十四年七月二十一日登記
鹿兒島區裁判所

●有限責任伊集院信用販賣購買利用組合變更
一理事松下熊吉中原毛介上村要助永田軍治松崎盛治ハ大正十四年七月四日辭任シ同日左ノ者理事ニ選任セラレ同月六日就任ス
日置郡伊集院町清藤千五百六十五番地　田中徳藏　同郡同町大田四百十四番地　佐藤與八郎　同郡同町下谷口七十番戸　山下徳次郎　同郡同町十三番戸　中馬彌熊　同郡同町徳重百番戸　岩永勇孝
右大正十四年七月二十三日登記
鹿兒島區裁判所伊集院出張所

●無限責任大浦信用購買販賣組合變更
一理事笹小七八大正十四年七月十五日笹小兵衛ト改名ス
大正十四年七月二十五日登記
弘前區裁判所

●名稱有限責任和寒村除虫菊販賣組合變更
一大正十四年六月二日理事白鳥重兵衛辭任シタリ
一理事白鳥重兵衛辭任ニツキ大正十四年六月十八日臨時總會ニ於テ左者選任同日就任シタリ
一理事ノ氏名住所　木内繁之助　北海道上川郡和寒村字和寒十五線三十七番地
右大正十四年七月十六日登記
名寄區裁判所和寒出張所

●有限責任鵜城信用購買販賣組合變更
大正十四年五月二十七日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
鵜城郡鵜城村大字鵜城字海岸通二十二番地
大正十四年七月十三日登記
眞岡區裁判所鵜城出張所

●産業組合設立
一名稱有限責任鹿草信用組合　一事務所　東石郡鹿草庄鹿草八一九番地　一區域　東石郡鹿草庄一圓　一組織有限責任　一目的一、組合員ニ産業又ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト二、組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト三、加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト　一出資一口ノ金額　金十圓　一出資拂込ノ方法出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トシ第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回拂込後一箇年内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス　一設立許可ノ年月日　大正十四年六月九日　一存立ノ時期　二十箇年　一理事ノ氏名住所　東石郡鹿草庄鹿草八一九番地郭金盤　同所一一四三番地陳欣　同庄三角子六九番地黄清詰　同庄竹子脚八四番地林兜　一監事ノ氏名住所　東石郡鹿草庄後堀一八四番地陳國華　同庄中寮三七五番地張丕　同庄頂潭二八三番地林芸
右大正十四年七月二十日登記
臺南地方法院朴子出張所

◎住宅組合登記

●住宅組合設立
一名稱　有限責任東郷住宅組合
一區域　東京府下
一組織　有限責任
一事務所　東京市四谷區舟町六十六番地
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年三月十八日
一出資一口ノ金額　金百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十六日限リ之ヲナスヘシ
一、住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二、住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十年三月末日迄
一理事ノ氏名住所
瀧口儀藏　東京市四谷區舟町六十六番地
白山昌治　東京府荏原郡大井町字立會四百二十三番地

一監事ノ氏名住所
猪熊忠次　東京市牛込區喜久井町三十四番地
川島辰二　東京府豊多摩郡中野町大字中野小瀧千五百四十六番地

●住宅組合設立
一名稱　有限責任木忘住宅組合
一區域　東京市荏原郡豊多摩郡北豊島郡
一組織　有限責任
一事務所　東京市赤坂區青山南町五丁目四十五番地與名本文彌方
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立年月日　大正十四年三月三十日
一出資一口ノ金額　金百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十六日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十二年三月二十九日迄
一理事ノ氏名住所
與名本文彌　東京市赤坂區青山南町五丁目四十五番地
佐藤信彦　同所
齋藤貫一　東京府豊多摩郡落合町大字下落合三百六十七番地
一監事ノ氏名住所
小原一　東京府豊多摩郡澁谷町大字中澁谷三百八十一番地

●住宅組合設立
一名稱　有限責任青苑住宅組合
一區域　東京府
一組織　有限責任
一事務所　東京市本郷區駒込林町七十六番地小春錫宅
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年三月二十五日
一出資一口ノ金額　金百五十圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金七圓五十錢出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十五日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十二年三月二十四日迄
一理事ノ氏名住所
田阪美德　東京府豊多摩郡澁谷町大字中澁谷九百三十六番地池山政方
小春錫　東京市本郷區駒込林町七十五番地
一監事ノ氏名住所
江口日出松　東京府豊多摩郡淀橋町大字角筈六百八番地
横山信二　同府同郡澁谷町大字下澁谷百六十番地

●住宅組合設立
一名稱　有限責任七福住宅組合
一區域　東京府内
一組織　有限責任
一事務所　東京市麻布區飯倉片町十七番地
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年三月十四日
一出資一口ノ金額　金二百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金十圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十七日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十二年三月三日迄
一理事ノ氏名住所
渡辺櫻吉　東京市麻布區飯倉片町十七番地
鈴木謙治郎　同所
加藤民治　東京府荏原郡入新井町大字新井宿字八景坂二千三百七十二番地
一監事ノ氏名住所
北村武吉　東京府北豊島郡高田町大字雜司ケ谷村九百四十五番地
村山弘　同府荏原郡入新井町大字新井宿字西沼六百三十番地

●住宅組合設立
一名稱　有限責任共進住宅組合
一區域　東京府
一組織　有限責任
一事務所　東京市本所區永倉町一番地梅熊吉方
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年四月一日
一出資一口ノ金額　金百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十七日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十二年三月三十一日迄
一理事ノ氏名住所
都筑壽三郎　東京府南葛飾郡寺島町二千百三十五番地
鴨志田三藏　東京市本所區清水町二番地
椿熊吉　同市同區永倉町一番地
一監事ノ氏名住所
杉浦巳之吉　東京市本所區綠町二丁目二十三番地
服部松三　同所五丁目四十一番地
右大正十四年五月十三日登記

●住宅組合設立
一名稱　有限責任復興住宅組合
一區域　東京府荏原郡北豊島郡南葛飾郡南足立郡東京市
一組織　有限責任
一事務所　東京市本所區綠町五丁目四十番地天野恭三方
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年三月十三日
一出資一口ノ金額　金二百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金四圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月末日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ノ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十二年三月十三日迄
一理事ノ氏名住所
天野恭三　東京市本所區綠町五丁目四番地
渡邊國藏　東京府北豊島郡尾久町大字下尾久八百二十番地
松田重三郎　同府南葛飾郡寺島町二千三百二十八番地
一監事ノ氏名住所
福田勝三郎　東京市淺草區聖天町五十七番地
吉田力太郎　東京府南足立郡千住町大字千住中組七百八十七番地

●住宅組合設立
一名稱　有限責任柏住宅組合
一區域　東京府
一組織　有限責任
一事務所　東京市赤坂區青山南町六丁目百八番地
一目的　本組合ハ住宅ノ建設又ハ購入ヲナシ之ヲ組合員ノ使用ニ供シ及其所有權ヲ讓渡スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　大正十四年三月十八日
一出資一口ノ金額　金百圓トス
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス出資第二回以後ノ拂込ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十五日限リ之ヲナスヘシ
一住宅ノ供給ヲ受クル前ニ在リテハ毎月第一回拂込金額ノ十分ノ一ニ相當スル金額
二住宅ノ供給ヲ受ケタル後ニ在リテハ出資額及之ニ對スル利子相當額ノ合算額ヨリ住宅ノ供給ヲ受クル前ニ於ケル拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ組合存立時期滿了迄ノ月數ニ依リ均等ニ分割シタル金額前項第二號ニ規定スル利子相當額ノ算定方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
一存立時期　大正三十年三月十七日迄
一理事ノ氏名住所
井下清　東京府荏原郡目黒町大字中目黒字田道六百六十七番地
有元岩鶴　東京市赤坂區青山南町六丁目百八番地
馬場容藏　東京市四谷區傳馬町新一丁目九番地
一監事ノ氏名住所
高橋信七郎　東京府豊多摩郡杉並町大字高圓寺字西小澤百六十八番地
佐藤隆三　同府同郡落合町大字下落合字伊勢脇千三百五十六番地

第3932号　本文

◎公示催告

限定承認及請求申出ノ公告

拙者儀被相續人福島縣若松市博勞町二十一番地井澤傳平ノ法定推定家督相續人トシテ大正十四年九月二十一日若松區裁判所ニ於テ其限定承認ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及受遺者ハ此公告ノ日ヨリ大正十四年十一月三十日迄ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘク若シ右期間内ニ申出サルトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ右民法第千二十九條及第七十九條第二項ニ依リ公告候也

大正十四年九月二十四日

福島縣若松市博勞町二十一番地
井澤傳平限定承認者　井澤健橘

◎公示送達

被告人　百田勝廣

右徴兵令違反被告事件ニ付大正十四年十一月十九日午前九時公判開廷候條當廳刑事法廷ニ出頭可有之候也

召喚ニ應セサルトキハ刑事訴訟法第八十六條ニ依リ勾引状ヲ發スルコトアルヘシ

大正十四年九月二十五日　妙寺區裁判所　判事　中込宗造

被告人　田葉玉吉

右徴兵令違反被告事件ニ付大正十四年十一月十九日午前九時公判開廷候條當廳刑事法廷ニ出頭可有之候也

召喚ニ應セサルトキハ刑事訴訟法第八十六條ニ依リ勾引状ヲ發スルコトアルヘシ

大正十四年九月二十五日　妙寺區裁判所　判事　中込宗造

被告人　米澤德市

右徴兵令違反被告事件ニ付大正十四年十一月十九日午前九時公判開廷候條當廳刑事法廷ニ出頭可有之候也

召喚ニ應セサルトキハ刑事訴訟法第八十六條ニ依リ勾引状ヲ發スルコトアルヘシ

大正十四年九月二十五日　妙寺區裁判所　判事　中込宗造

◎除權判決

大阪市南區安堂寺橋通二丁目　申立人　近久武次

左記證券ニ付キ申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處大正十四年九月二十一日午前九時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テ且其證券ヲ提出シタルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基キ左記證券ノ無效ヲ宣言ス

大正十四年九月二十四日　青森區裁判所

記

一爲替手形一通　引受金額二千圓　支拂期日　大正十四年三月三十一日　支拂場所　株式會社第五十九銀行青森支店　引受日　大正十四年二月三日　引受人　青森市大字米町二十八番地松尾支店　南勘助

一爲替手形一通　引受金額一千八百七十六圓八十錢　支拂期日　大正十四年四月十日　支拂場所　株式會社第五十九銀行青森支店　引受日　大正十四年二月三日　引受人　青森市大字米町二十八番　松尾支店　南勘助

◎破産宣告

破産者　亡深川米一郎相續財産

右ニ對スル破産事件ハ簡令小破産手續ニ依ル

大正十四年九月二十五日　佐賀區裁判所

佐賀縣東松浦郡唐津村大字唐津五千五十九番地
株式會社唐津製作所
右法律上代理人取締役　溝上市太郎

右ノ者ニ對スル大正十四年(子)第一號破産事件ニ付當裁判所ノ爲シタル破産宣告ニ付公告スルコト左ノ如シ

一　株式會社唐津製作所ヲ破産者トス
一　破産管財人ハ佐賀縣東松浦郡唐津町大字唐津三百三十六番地辯護士　田中康吾
一　債權屆出ノ期間ハ大正十四年十月十六日迄
一　第一回債權者集會ノ期日ハ大正十四年十月二十三日午前九時
一　債權調査期日ハ大正十四年十月二十三日午前九時
一　破産者ノ債務者及破産財團ニ屬スル財産ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其財産ヲ交付スヘカラス破産者ニ對シ債務ヲ負擔スル者若クハ破産者ノ財産ヲ所持スル者ハ其旨竝其財産所持者ニシテ別除權ヲ有スルトキハ其債權ヲ有スルコトヲ大正十四年十月十六日迄ニ破産管財人ニ屆出ツヘシ

大正十四年九月二十五日午前十時三十分宣告　唐津區裁判所

◎復權許可

長野縣諏訪郡玉川村七番地
家資分散者　河西甚五郎

右ノ者ニ對スル復權事件ニ付キ當裁判所ハ左ノ通リ決定ス

家資分散者河西甚五郎ノ復權申立ハ之ヲ許可ス

大正十四年九月二十四日　上諏訪區裁判所　判事　大塚等

宮崎縣宮崎郡木花村大字熊野一〇二六三番地
家資分散者　石黒貞一

右ニ對スル復權申立事件ニ付當裁判所ハ大正十四年九月四日左ノ如ク決定シ該決定確定シタリ

主文

石黒貞一ノ復權ヲ許可ス

大正十四年九月二十一日　宮崎區裁判所

◎債權者集會竝債權調査期日變更

破産者　岡部今朝太郎

右ノ者ニ對スル大正十四年(子)第五號破産事件ニ付破産管財人ノ申立ニヨリ大正十四年十月二日午前十時ノ債權者集會期日ハ大正十四年十一月四日午前十時ニ大正十四年十月二十二日午前十時ノ債權調査期日ハ大正十四年十一月二十五日午前十時ニ變更ス

大正十四年九月二十六日　中津區裁判所　判事　神矢茂

◎荷受人及荷送人不明荷物

左記荷物心當リノ向ハ當省ニ申出ツヘシ本公告後六箇月内ニ其權利者ノ申出ナキ時ハ鐵道省其所有權ヲ取得ス

大正十四年九月　鐵道省

備考　荷物表示ノ數字ハ保管番號、其下ノ數字等ハ紛著又ハ發見ノ月日驛名等△ハ紛著×ハ到著年月日荷情等不明後發見ノモノ※ハ一時預リ品受取方申出ナキモノ

九七五一パスケット小鏡其他六、二三大阪※　九七五二鞄書籍六、二二同　九七五三同錠付六、一七同　九七五四同剃刀等六、二二同　九七五五同體溫器等六、九同　九七五七同シャツ等六、〇同七　九七五九竹行李衣類六、二九同△　九七六〇同衣類六、一〇同　九七六一柳行李雜誌等六、二八同　九七六二竹行李鞄等六、一五同　九七六三木錨六、二五同　九七六四スコップ六、二一同　九七六五番傘六、六同※　九七六六蛇目傘六、二二同※　九七六七番傘六、二六同　九七六八箱入藥品類八、二〇廣島△　九七六九同シャフトメタル八、六熊本△　九七七〇俵入玉葱八、八野洲×　九七七二莚包疊表八、七上野原×　九七七三同自轉車用リーム七、三〇幡生△　九七七四莚包梅丸八、六熊本×　九七七五布包演藝道具六、一四小松×　九七七六同毛布等七、九釜山營業所×　九七七七紙包廣告ハガキ臺紙其他七、八廣島※　九七七八風呂敷包襦袢等七、一一宇都宮※　九七七九同單衣等七、一一兩國橋×　九七八〇同女伊達卷等七、一二德島※　九七八一パスケット半ズボン等七、七岩淵※　九七八二同冬シャツ等六、二九長崎△　九七八三箱入ハモニカ八、一三岐阜△　九七八四俵入生野菜八、八守山△　九七八五叺入石炭八、一二門司×　九七八七紙包番傘六、一六中野△　九七八八同茶舞臺七、三〇同　九七八九風呂敷包蒲團等七、一五蒲田△　九七九〇柳行李ゴム杭等七、一東京△　九七九一柳行李書物等七、二柳井津×　九七九二竹行李衣類七、一五川崎※　九七九三柳行李帽子六、四岐阜△　九七九四蛇目傘六、二九靜岡※　九七九五雜木机七、一三吉野口※　九七九六番傘七、二一新宿※　九七九七竹竿七、一一瀧川×　九七九八雨傘六、二一岐阜※　九八〇〇手提袋書籍七、五神戸※　九八〇一毛布包單衣七、二九京都△　九八〇二紙包衣類六、二八東京△　九八〇三同雜誌七、一三同×　九八〇四紙包ペタルシャフト七、一九京都×　九八〇五風呂敷包瓦煎餅七、三神戸※　九八〇七柳行李衣類七、八京都△　九八〇八竹行李シャツ其他六、二九同　九八一〇空籠七、二二折尾△　九八一一飯臺六、二五久留米※　九八一二生鳥八、一〇箱崎×　九八一三五十錢銀貨八、八東京×　九八一四番傘七、三神戸※　九八一五袋入白米八、二〇上野×　九八一六布包毛布等七、一一上野×　九八一七紙包書籍一、二九上野△　九八一八同雜誌一、二九同　九八一九同書籍同　九八二〇同雜誌一、二九同△　九八二一紙包書籍同×　九八二二同上　九八二三同敷布等八、八同　九八二四同靴等七、六同　九八二五風呂敷包レインコート等六、三〇上野×　九八二六同雜誌七、七同※　九八二七同岩石等七、一二同※　九八二八同麥稈帽子等七、一二同※　九八二九同衣類七、八同　九八三〇同長襦袢等六、二九同　九八三一同股引等七、四同　九八三二バスケット衣類六、二四同　九八三三同ネクタイ等六、二六同　九八三四鞄便箋七、一二同　九八三六竹行李柔道免許狀等七、二四京都×　九八三七同書籍等同　九八三八同上　九八三九子供下駄八、一上野×　九八四〇鼻緒八、七同　九八四一箱入蓮根ノ苗八、七梅小路×　九八四二莚包自轉車ペル、土除八、一〇新津△　九八四三同鑄鐵鍋八、一一長崎×　九八四四藁莚包蒲團七、一六鶯谷△

向ホ詳細ハ最寄鐵道省停車場ニ就キ荷物彙報ヲ閲覽セラルヘシ

正誤

去月十六日本欄除權判決ノ項中四三三頁一段大阪區裁判所ノ部四行「自第四八六〇號至第四八六六號」ハ「自第四八三〇號至第四八三三號」ノ誤

◎外國行郵便物東京中央郵便局締切日時表

郵便	通常	普通	書留	小包	船出帆港	船名
米國、歐洲等行	月 日 時	月 日 時	月 日 時			
	一〇、二前 六、	一〇、二前 六、一五	一〇、一後		横濱	さいべりあ丸
香港、海峽殖民地、英領印度等行						
	同 三前 六、四五	同 三前 六、一五			神戸 門司	鳥取丸

(備考)　鳥取丸ハ神戸ニテ小包ヲ、門司ニテ通常ヲ搭載ス

第3932号　本文

株券預證紛失公告

一當行ト合併ノタメ提出ノ元富山縣農工銀行株券預證第七九九號阿部菊次郎殿名義同第壹四四八號小谷宗作殿名義

右紛失ノ旨屆出ニ付大正十四年十一月一日迄ニ發見セサルトキハ無效トス

大正十四年十月一日　株式會社日本勸業銀行

無效公告

一當行新株第一回拂込株金領收證壹株分第貳壹八壹參號高橋義三殿名義同八株分第貳壹八壹四號竹内彌一郎殿名義

右紛失ノ旨屆出ニ付大正十四年十一月一日迄ニ發見セサルトキハ無效トス

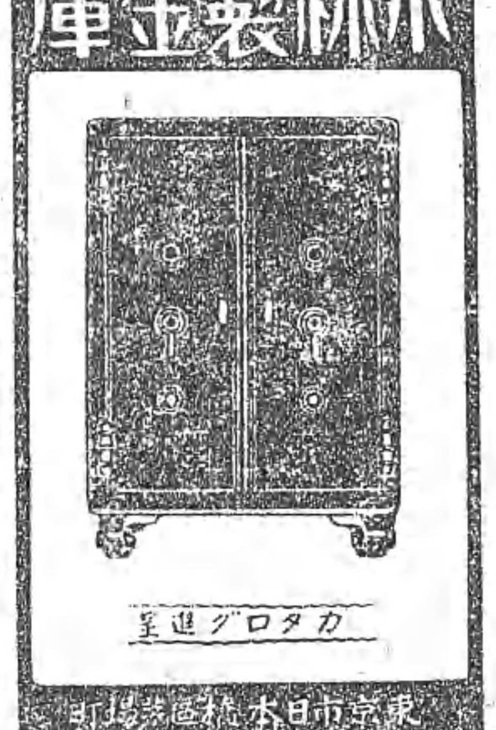
大正十四年十月一日　株式會社　日本勸業銀行

從來麴町區永樂町二丁目二番地ニテ營業罷在候處來ル十月一日ヨリ左記ニ移轉營業可仕候

大正十四年九月三十日

東京市麴町區有樂町一丁目一番地(丸ノ内仲通八號館)
株式會社　高田商會
電話　大手二八五六番　同七一七一番

數學
最大速成法講義
(見本附會則無代進呈)はがきニテ申込ムベシ
東京神田區錦町三ノ二十一　數理專修學院

小林製金庫


東京市日本橋區本石町　小林金庫商會

◎算盤特價提供◎

弊店謹製算盤の眞價は世に認められ實業界より好評を以て歡迎せらるゝの光榮を有し下記數種は何れも實用的高級品に候

號	品名	桁	寸法	玉
甲號	黒檀縁特製	廿七桁	幅 長 [illegible]	本黒玉
乙號	同上	廿七桁	幅 長 [illegible]	黄楊玉
丙號	同上	廿一桁	幅 長 [illegible]	黄楊玉
丁號	同携帯用	十七桁	幅 長 [illegible]	黄楊玉
總黒檀特製 一號		廿七桁	幅 長 [illegible]	
總黒檀特製 二號		廿一桁	幅 長 [illegible]	
純白骨玉入 三號	携帯用	十七桁	幅 長 [illegible]	
純白骨玉入 四號	ポケット用	十五桁	幅 長 [illegible]	

●送料内地拾貳錢領土四拾錢●代金引換は別に拾六錢申受候

兵庫縣加東郡大部村
産地製造元　進藤才三商店
(振替口座大阪四〇七六番)

鳩印　TOYO LINOLEUM MFG. CO. LTD.　値段表送呈

海軍省、鐵道省唯一指定工場
東洋リノリユーム株式會社
年産額百五十万平方碼
兵庫縣伊丹町　電話伊丹一番、六九番

資本金　五千萬圓(拂込濟)
積立金　四千六百四拾萬圓
東京市日本橋區兜町壹番地
株式會社　第一銀行
市内支店　室町(日本橋區)　深川(深川區福住町)　京橋(京橋區疊町)　新大坂町(日本橋區)　丸之内(麴町區)　淺草(黒船町)
地方支店　横濱、名古屋、名古屋玉屋町、四日市、京都、京都西陣、京都五條、伏見、大阪、大阪西區、大阪南區、大阪本町、神戸、神戸元町、兵庫、廣島、下關、長府、門司、小倉、福岡、久留米、熊本、函館、小樽、札幌、室蘭、京城、釜山

消毒防臭殺蟲三效力絶對保證

臺灣總督府專賣局方劑
朝鮮總督府法定消毒藥
臺灣總督府專賣局封緘
後藤デシン
(詳細説明書進呈)

一、東京帝國大學傳染病研究所ハ本品一%液ハコレラ菌ヲ、二%液ハチフス菌ヲ、三%液ハ赤痢菌ヲ各瞬間ニ殺滅シ石炭酸ヨリ效力大ナルモノト證明セラル
一、本品ノ稀釋液ハ放置スルモ絶對ニ變化スルコトナキヲ以テ殺虫劑トシテノ應用效果ハ石油乳劑等ノ比ニアラズ

神戸市八雲通四
株式會社　後藤デシン本舗

政治教育講座

内容見本贈呈

十月一日第一號發行
（以後毎月一日發行）
一冊七拾錢、半年四圓、
一年七圓八拾錢、要前金

■第一號出づ!!■

目次

○總說
代議政治と國民の覺悟……本會總裁法學博士　水野錬太郎
政治と教育……文學博士　澤柳政太郎
○政治講座
我國の憲法の主義……東京帝國大學教授法學博士　野村淳治
現代政治講話……早稻田大學教授　高橋清吾
普選以後の政治……田川大吉郎
○法制講座
普選法罰則の話……司法書記官　古田正武
○財政講座
我國の財政と經濟生活……東京帝國大學教授經濟學博士　土方成美
○經濟講座
産業の現狀……鶴見左吉雄
○社會講座
勞働問題……早稻田大學教授　林癸未夫
勞働政策……社會局第一部長　河原田稼吉
○國際講座
世界の大勢……外務書記官　蘆田均
列國の軍備と我が國防……陸軍少將　河野恒吉
○修養講座
公民道德……東京帝國大學教授文學博士　吉田熊次
現代青年と協同精神……東京市社會教育課長　池園哲太郎
文藝講話……本間久雄

右の外、以下逐號左の講師が執筆さるゝ事となつてゐる。

○科外講話
明治大帝と憲法制定……子爵　金子堅太郎

○總說　法博　穗積陳重
東大教授文博　井上哲次郎
○政治講座　東大教授法博　上杉愼吉
東大教授法博　森口繁治
中大教授法博　稻田周之助
衆議院議員法博　清瀨一郎
○法制講座　東大教授法博　穗積重遠
東大教授法博　牧野英一
法博　佐竹三吾
○地方講座　行政裁判所評定官法博　清水澄
内務書記官　石原雅二郎
大阪府知事　中川望
東大教授法博　矢作榮藏
東大教授農博　那須皓
○教育講座　交部省普通學務局長　赤司鷹一郎
交部省實業學務局長　關屋龍吉
○財政講座　武部欽一
內務書記官　田中廣太郎
衆議院議員法博　小川鄕太郎
○經濟及產業講座　貴族院議員　井上準之助
貴族院議員　堀江歸一
商大教授法博　上田貞次郎
東大教授法博　松岡均平
○社會講座　東京高師教授　綿貫哲雄
東京高師教授　永井亨
○國際講座　法博　米田實
東大教授　神川彥松
海軍少將　日高謹爾
○修養講座　東大教授文博　木村泰賢
○科外講座　東大教授法博　美濃部達吉
安河內麻吉
貴族院議員　永田秀次郎
貴族院議員法博　鈴木喜三郎
東京市助役　田澤義鋪
法博　松井茂
貴族院議員伯　二荒芳德
衆議院議員　荒川五郎
貴族院議員子　大森鍾一
東京高師教授理博　後藤新平
農林省農務局長　淺次郎
農林省地方局長　石黑忠篤
經濟博　太田正孝
內務省地方局長　潮惠之輔

政治教育協會　東京市芝公園●協調會館內　郵便宛先東京中央局私書函六十八號　振替口座東京三九三四番　電話青山五八五九番

PATENT WORKING ADVERTISEMENT

Patent No. 46692
Date: September 28th, 1921
Subject: Improvements in Method of and Apparatus for Picking and Cleaning Cotton,
Patentee: Albert M. Hanauer

desires to sell this patent, or to grant licenses therefore on reasonable terms to any reliable persons in Japan.
Apply to
Tatsujiro Uchimura,
2, Marunouchi C.,
Tokyo, Japan.

desires to sell this patent, or to grant licenses therefore on reasonable terms to any reliable persons in Japan.

特許權實施廣告

特許第　號
大正十年九月二十八日
特許權者　アルバート、エム、ハナウエル
發明ノ名稱　綿摘及除塵裝置
右特許權者ハ本特許ヲ實施セント欲スル者ニ對シ相當ノ條件ヲ以テ通常實施權ヲ許諾スベキ旨申出デタリ依テ此ノ段廣告ス
大正十四年十月一日
東京市麹町區有樂町一丁目一番地
辯理士　內村達之助

振替東京五八一七二　電話青山七一八
東京市外東北本線川口町驛前大通り角
清水兄弟商會鑄造部

ストーブ原價提供

腰綱ストーブ　金九圓ヨリ各種
胴張ストーブ　金三圓六十錢ヨリ各種
仙德火鉢（御定紋入）　鑄鐵製　火鉢　金二圓ヨリ

カタログ進呈　此の外御定紋入れ文字入れ記念品色いろいろできます

印肉界ノ革命的發明品

信指定品

改良印肉汁ト肉褥盤

（色ハ黑、朱、赤、青綠、青綠ノ五種アリ）

各種ノ印肉ニ僅ル代用

印肉汁ト肉褥盤ハ從來ノ印肉ニ代用シ且ツ印影ノ鮮明ニシテ何回捺印スルモ印材ニ好適シ且ツ印材ニモ好適シ何ノ印材ニモ好適シ何ノ印材ニモ好適シ何ノ

榮光の社本

尊き大御心と
吹上御苑の
大鑿泉

一昨秋關東地方大震災後水道斷水の不慮に備ふる爲め宮内省に於て新に計畫されたる宮城内鑿泉水道工事の水源たる大鑿泉は昨春本社御下命を拜し誠實に施工し一晝夜湧水量貳萬石の好成績を以て御引渡しを完了せり本社は其光榮を永久に體現して益々技術の向上と其裝置の完全を期せんとす敢て謹告す

最近工事先

東京朝日新聞社　日本皮革株式會社　日新染布株式會社　東京海上ビルヂング　東京電力株式會社　東京帝國大學　日本郵船ビルヂング　正金銀行東京支店　東京中央電話局

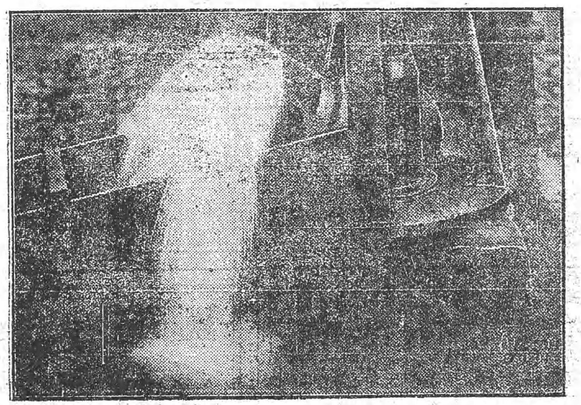
最近工事先

日本ビール鑛泉第三井箕面土地住宅株式會社　大日本ビール吹田工場　大阪瓦斯株式會社　鐵道省吹田操車場　鬼怒川水力電氣株式會社　大阪中央電話局　天滿電話局　天王寺電話局

特徴

鑿泉の成績と生命は完全なる鑿泉の構造と砂防集水管の裝置に俟たざる可からず本社獨特の技術は工事期間を短縮し且つ專賣特許ストレーナーの裝置は產水量を增加し共に需要者各位の御滿足を得可きを期す。

東京博覽會銀牌受賞



東京朝日新聞社大鑿井一晝夜揚水量一万三千石

營業科目

上水道用、工業用、溜漑用、其他鑿井工事
上水道用裝設工事請負
揚水裝置工事請負
簡易鑿井工事諸負

電力又ハ發動機ニヨル小口徑鑿井工事ハ最モ簡易、迅速、經濟的ニ施工スル如何ナル小工事ニテモ是非御照會ヲ乞フ

明治四拾四年五月創立

日本鑿泉合資會社

東京本社　東京市丸ノ内仲通二號館・電話大手局・特五一一二番・五〇三二番・四〇〇九番
大阪出張所　大阪市北區曾根崎三丁目太平ビル三階・電話北三七八八番

本誌定價　一箇月　金八十錢（送料、官報號外實費分不要）　一部　金四錢（但シ號外金三錢）（送料、官報號外實費分不要）
廣告料　四號一行　四十五字詰　一回　金三十五錢　五號一行　三十字詰　一回　金二十五錢（一般廣告ハ六段組一行二十五字詰四號ニ換算シ六號活字ノ場合）
發行所　東京市芝區愛宕町二丁目四番地　電話本局（七〇）七百番　内閣印刷局　（振替口座東京一九〇〇〇番）